

対象校No. 818
注4

学校コード F128310108749
注3

設置年度 令和 7年度

計画の区分： 学部の設置
注1

届出

注2
神戸女子大学 教育学部 教育学科

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正後大学設置基準適用)

学校法人行吉学園
令和7年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	教務事務部
職名・氏名	フチャウ カワイ ヒデユキ 部長・河合 秀行
電話番号 (夜間)	078-731-4416 (内線: 3139) -
e-mail	kyomu@yg.kobe-wu.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称: ◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合: 「〇〇大学」
・学部の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合: 「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合: 「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html
- 4 対象校No.については、「【別紙】令和7年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

教育学部

＜教育学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	18
4. 既設大学等の状況	19
5. 教育研究実施組織の状況	20
6. 附帯事項等に対する履行状況等	40
7. その他全般的事項	43

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人行吉学園

(2) 大学名

神戸女子大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒654-8585

兵庫県神戸市須磨区東須磨青山2番1号

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。

・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(オカダ マコト) 岡田 誠 (令和7年4月)		
学長	(コウ アイコ) 洪 愛子 (令和7年4月)		
学部長	(ミヤケ シゲオ) 三宅 茂夫 (令和7年4月)		
学科長等	(カナイワ トシアキ) 金岩 俊明 (令和7年4月)		

(注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を

()書きで記入してください。

(例) 令和6年度に報告する内容 → (6)

令和7年度に報告する内容 → (7)

・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。

・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(「大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 - ・様式は、令和2年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和7年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 - ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「留学」の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生を記載してください。
 - ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
教育学部 教育学科 学士(教育学)	教育学・保育学 関係	4 年	130 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次 0 人	130 人	-	文学部教育学科

- (注) 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1)又は(その2の2))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 - ・学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		春季入学以外の 学期区分につ いて	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	備考
	春季入学	その他の学期														
A 入学定員	人 () []	130 () []	-													
志願者数	() []	451 () []	春季入学以外 の入学時期と 入学定員内訳													
受験者数	() []	400 () []		0.59倍	-											
合格者数	() []	159 () []														
B 入学者数	() []	77 () []														
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.59				

- (注) 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
 - ・()内には、編入学について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、()書きとするなど、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・転入学生は記入しないでください。
 - ・[]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
 - ・「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - ・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳(予定を含む)を記載してください。(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。)
 - ・「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る届出書類の作成の手引(令和8年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 - ・なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 - ・「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		備 考
	春季入学	その他の学期											
1年次	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	77	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
2年次			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
3年次					-	-	-	-	-	-	-	-	
					[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
					(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
4年次							-	-	-	-	-	-	
							[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
							(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	77	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	

(注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ []内には、留学生の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ ()内には、留年者の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
- ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	- 人	- 人	
令和7年度	77 人	0 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	- 人	- 人	
			令和7年度	0 人	0 人	
合計		0 人		0 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「修学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・修学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{--} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{--} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{--} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{--} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{--} = \boxed{-} \%$$

【令和7年度】

$$\frac{\text{令和7年度の退学者数(a)}}{\text{令和7年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{77} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<教育学部 教育学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数				基幹教員等の配置				(外の教員 助手を除く)
				必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手	
基幹科目	基礎Ⅰ	1前	○	2								1
	基礎Ⅱ	1後		2								1
	基礎Ⅲ	2前		2								1
	基礎Ⅳ	1前		2								1
	女性Ⅰ	1前		2								1
	女性Ⅱ	1前		2								1
	女性Ⅲ	1後		2								10
	女性Ⅳ	1後		2								1
	神戸学	1前		2								3
	地域学習	1通		2								2
小計(10科目)	—	—	0	20	0	0	0	0	0	0	0	19
英語	英語Ⅰ-1	1前		1								1
	英語Ⅰ-2	1後		1								1
	英語Ⅱ-1	2前		1								1
	英語Ⅱ-2	2後		1								1
	外国語コミュニケーションⅠ	3前	○	1								1
	外国語コミュニケーションⅡ	3後	○	1								1
	教養英語Ⅰ-1	1前		1								1
	教養英語Ⅰ-2	1後		1								1
	教養英語Ⅱ-1	2前		1								1
	教養英語Ⅱ-2	2後		1								1
	ドイツ語Ⅰ-1	1前		1								1
	ドイツ語Ⅰ-2	1後		1								1
	ドイツ語Ⅰ(速習)	1前		2								2
	ドイツ語Ⅱ(速習)	1後		2								2
	フランス語Ⅰ-1	1前		1								1
	フランス語Ⅰ-2	1後		1								1
	フランス語Ⅰ(速習)	1前		2								1
	フランス語Ⅱ(速習)	1後		2								1
中国語Ⅰ-1	1前		1								1	
中国語Ⅰ-2	1後		1								1	
中国語Ⅰ(速習)	1前		2								2	
中国語Ⅱ(速習)	1後		2								2	
中国語会話Ⅰ	1前		1								1	
中国語会話Ⅱ	1後		1								1	
中国語講義Ⅰ	1前		1								1	
中国語講義Ⅱ	1後		1								1	
朝鮮語Ⅰ-1	1前		1								1	
朝鮮語Ⅰ-2	1後		1								1	
朝鮮語Ⅰ(速習)	1前		2								2	
朝鮮語Ⅱ(速習)	1後		2								2	
朝鮮語会話Ⅰ	1前		1								1	
朝鮮語会話Ⅱ	1後		1								1	
朝鮮語講義Ⅰ	1前		1								1	
朝鮮語講義Ⅱ	1後		1								1	
イタリア語Ⅰ-1	1前		1								1	
イタリア語Ⅰ-2	1後		1								1	
イタリア語Ⅰ(速習)	1前		2								2	
イタリア語Ⅱ(速習)	1後		2								2	
小計(38科目)	—	—	0	48	0	0	0	0	0	0	0	18
科目情報	情報A	1後	○	2			2					
	情報B	1前		2			1					
小計(2科目)	—	—	0	4	0	0	2	0	0	0	0	0
全学共通授業科目	基礎トレーニング	1前	○	1				1				1
	スポーツと健康の科学	2前	○	2								1
	スポーツ実技Ⅰ(バドミントン)	1後		1								1
	スポーツ実技Ⅱ(バレーボール)	1後		1								1
	スポーツ実技Ⅲ(卓球)	1後		1								1
	スポーツ実技Ⅳ(テニス)	1後		1				1				1
	スポーツ実技Ⅴ(学外)	1後		1					1			1
	小計(7科目)	—	—	0	8	0	0	0	1	0	0	4

【令和7年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数				基幹教員等の配置				(外の教員 助手を除く)
				必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手	
基幹科目	基礎Ⅰ	1前	○	2								1
	基礎Ⅱ	1後		2								2
	基礎Ⅲ	2前		2								1
	基礎Ⅳ(未開講)	1前		2								1
	女性Ⅰ	1前		2								1
	女性Ⅱ(未開講)	1前		2								1
	女性Ⅲ	1後		2								9
	女性Ⅳ	1後		2								1
	神戸学(未開講)	1前		2								3
	地域学習(未開講)	1通		2								2
小計(10科目)	—	—	0	20	0	0	0	0	0	0	0	19
英語	英語Ⅰ-1	1前		1								2
	英語Ⅰ-2	1後		1								2
	英語Ⅱ-1	2前		1								1
	英語Ⅱ-2	2後		1								1
	外国語コミュニケーションⅠ	3前	○	1								1
	外国語コミュニケーションⅡ	3後	○	1								1
	教養英語Ⅰ-1(未開講)	1前		1								1
	教養英語Ⅰ-2	1後		1								1
	教養英語Ⅱ-1	2前		1								1
	教養英語Ⅱ-2	2後		1								1
	ドイツ語Ⅰ-1(未開講)	1前		1								2
	ドイツ語Ⅰ-2	1後		1								2
	ドイツ語Ⅰ(速習)(未開講)	1前		2								2
	ドイツ語Ⅱ(速習)	1後		2								2
	フランス語Ⅰ-1	1前		1								2
	フランス語Ⅰ-2	1後		1								2
	フランス語Ⅰ(速習)(未開講)	1前		2								1
	フランス語Ⅱ(速習)	1後		2								1
中国語Ⅰ-1	1前		1								3	
中国語Ⅰ-2	1後		1								3	
中国語Ⅰ(速習)(未開講)	1前		2								4	
中国語Ⅱ(速習)	1後		2								4	
中国語会話Ⅰ(未開講)	1前		1								1	
中国語会話Ⅱ	1後		1								1	
中国語講義Ⅰ(未開講)	1前		1								1	
中国語講義Ⅱ	1後		1								1	
朝鮮語Ⅰ-1	1前		1								4	
朝鮮語Ⅰ-2	1後		1								4	
朝鮮語Ⅰ(速習)(未開講)	1前		2								2	
朝鮮語Ⅱ(速習)	1後		2								2	
朝鮮語会話Ⅰ(未開講)	1前		1								1	
朝鮮語会話Ⅱ	1後		1								1	
朝鮮語講義Ⅰ(未開講)	1前		1								1	
朝鮮語講義Ⅱ	1後		1								1	
イタリア語Ⅰ-1	1前		1								3	
イタリア語Ⅰ-2	1後		1								3	
イタリア語Ⅰ(速習)(未開講)	1前		2								2	
イタリア語Ⅱ(速習)	1後		2								2	
小計(38科目)	—	—	0	48	0	0	0	0	0	0	0	22
科目情報	情報A	1後	○	2			1	1				
	情報B	1前		2			1					
小計(2科目)	—	—	0	4	0	0	1	1	0	0	0	0
全学共通授業科目	基礎トレーニング	1前	○	1				1				1
	スポーツと健康の科学	2前	○	2								1
	スポーツ実技Ⅰ(バドミントン)	1後		1								1
	スポーツ実技Ⅱ(バレーボール)	1後		1								1
	スポーツ実技Ⅲ(卓球)(未開講)	1後		1								1
	スポーツ実技Ⅳ(テニス)	1後		1				1				1
	スポーツ実技Ⅴ(学外)	1後		1					1			2
	小計(7科目)	—	—	0	8	0	0	1	0	0	0	5

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					（助手を除く） 外の教員
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
一般科目 全学共通授業科目	人 と 思 想	哲学	1前		2							1
		思想	1後		2							1
		宗教	1後		2							1
	人 間 の 心 理 と 心 と か ら だ の 健 康	心理学 I	1前		2	1						
		心理学 II	1後		2	1						
		心とからだの健康	1前		2		1	1				3
	言 語 と 文 学	言葉と文学 I	1前		2							1
		言葉と文学 II	1後		2							1
		言葉と文学 III	1前		2							1
		言葉と文学 IV	1前		2							12
	歴 史	歴史 I	1前		2							1
		歴史 II	1後		2							1
		歴史 III	1前		2							1
	現 代 社 会	日本国憲法	1後	○	2							1
		現代社会 I	1前		2							1
		現代社会 II	1前		2							1
		現代社会 III	1前		2							1
		現代社会 IV	1前		2							1
	数 学	数学 I	1前		2		1					
		数学 II	1後		2		1					
	自 然 と 環 境	自然と環境 I	1後		2	1						
		自然と環境 II	1前		2		1					
		自然と環境 III	1後		2		1					
		自然と環境 IV	1前		2		1					
		衣・食・住 I	1前		2							1
	芸 術	衣・食・住 II	1前		2							9
		芸術 I	1前		2							1
	教 養 総 合	芸術 II	1前		2							1
		芸術 III	1前		2							1
		教養総合 I	1前		2							1
	演 習 科 目	教養総合 II	1後		2		1					1
		小計(32科目)	—	—	0	64	0	3	3	1	0	0
	新 時 代 の 課 題	現代教育の課題	1前	○	2		1					
		ダイバーシティと教育	1前	○	2		2					
		グローバルイシューと教育	1前	○	2		1	3				
	学 科 共 通 基 礎 科 目 群	SDGsと教育	1前	○	2		3	1				1
		教育の基礎理解	1前	○	2		1					1
		教育原理	1前	○	2		1					
		教職論	1前	○	2		1					
		教育社会学	1前	○	2		1					
教育心理学		1前	○	2		1						
特別支援教育		1前	○	2		1						
教育相談		1後	○	2		1						
教育基礎演習		1前	○	2		5	4	1				
幼児教育基礎演習		2前	○	2		1	1					
学 科 共 通 基 礎 科 目 群	学校教育基礎演習	2前	○	2		5	2					
	教育学講読	3前	○	2		15	7	2				
	教育学演習	3後	○	2		15	7	2				
	卒業論文 I	4前	○	4		14	7	2				
	卒業論文 II	4後	○	4		14	7	2				
	学校インターンシップ I	2前	○	1		2						
	学校インターンシップ II	2後	○	1		2						
	学校インターンシップ III	3前	○	1		2						
	学校インターンシップ IV	3後	○	1		2						
	学校インターンシップ V	4前	○	1		2						
幼 児 教 育 コ ー ス	学校インターンシップ VI	4後	○	1		2						
	教職実践演習(幼・小・中)	4後	○	2		6	2	1			1	
	小計(24科目)	—	—	34	12	0	17	8	2	0	0	3
	幼児教育課程総論	2前	○	2		1						
	幼児教育の方法及び技術	3前	○	2		1					1	
	幼児理解の理論と方法	1後	○	2		1						
	IOT活用の理論と実践	1後	○	1		1						
	幼児と健康	2前	○	1				1				
	幼児と言葉	2前	○	1			1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					（助手を除く） 外の教員
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
一般科目 全学共通授業科目	人 と 思 想	哲学	1前		2			1				
		思想	1後		2			1				
		宗教	1後		2							1
	人 間 の 心 理 と 心 と か ら だ の 健 康	心理学 I	1前		2	1						
		心理学 II	1後		2	1						
		心とからだの健康	1前		2		1	2				1
	言 語 と 文 学	言葉と文学 I (未開講)	1前		2							1
		言葉と文学 II (未開講)	1後		2							1
		言葉と文学 III (未開講)	1前		2							1
		言葉と文学 IV (未開講)	1前		2							12
	歴 史	歴史 I	1前		2							1
		歴史 II (未開講)	1後		2							1
		歴史 III (未開講)	1前		2							1
	現 代 社 会	日本国憲法	1後	○	2							1
		現代社会 I	1前		2							1
		現代社会 II (未開講)	1前		2							2
		現代社会 III (未開講)	1前		2							1
		現代社会 IV (未開講)	1前		2							1
	数 学	現代社会 V	1後		2							1
		数学 I	1前		2		1					
	自 然 と 環 境	数学 II	1後		2		1					
		自然と環境 I	1後		2	1						
		自然と環境 II (未開講)	1前		2		1					
		自然と環境 III	1後		2		1					
		自然と環境 IV (未開講)	1前		2		1					
	芸 術	衣・食・住 I (未開講)	1前		2							1
		衣・食・住 II (未開講)	1前		2							9
	教 養 総 合	芸術 I	1前		2							1
		芸術 II (未開講)	1前		2							1
		芸術 III (未開講)	1前		2							1
	演 習 科 目	教養総合 I (未開講)	1前		2							2
		教養総合 II	1後		2		1					5
	小計(32科目)	—	—	0	64	0	5	3	0	0	0	43
	新 時 代 の 課 題	現代教育の課題	1前	○	2		1					
		ダイバーシティと教育	1前	○	2		2					
		グローバルイシューと教育	1前	○	2		2	2				
	学 科 共 通 基 礎 科 目 群	SDGsと教育	1前	○	2		3	1				1
		教育の基礎理解	1前	○	2		1					1
		教育原理	1前	○	2		1					
		教職論	1前	○	2		1					
教育社会学		1前	○	2		1						
教育心理学		1前	○	2		1						
特別支援教育		1前	○	2		1						
教育相談		1後	○	2		1						
教育基礎演習		1前	○	2		6	4					
幼児教育基礎演習		2前	○	2		1	1					
学 科 共 通 基 礎 科 目 群	学校教育基礎演習	2前	○	2		6	1					
	教育学講読	3前	○	2		17	6	1				
	教育学演習	3後	○	2		17	6	1				
	卒業論文 I	4前	○	4		16	6	1				
	卒業論文 II	4後	○	4		16	6	1				
	学校インターンシップ I	2前	○	1		2						
	学校インターンシップ II	2後	○	1		2						
	学校インターンシップ III	3前	○	1		2						
	学校インターンシップ IV	3後	○	1		2						
	学校インターンシップ V	4前	○	1		2						
幼 児 教 育 コ ー ス	学校インターンシップ VI	4後	○	1		2						
	教職実践演習(幼・小・中)	4後	○	2		8	1				1	
	小計(24科目)	—	—	34	12	0	19	7	1	0	0	3
	幼児教育課程総論	2前	○	2		1						
	幼児教育の方法及び技術	3前	○	2		1					1	
	幼児理解の理論と方法	1後	○	2		1						
	IOT活用の理論と実践	1後	○	1		1						
	幼児と健康	2前	○	1				1				
	幼児と言葉	2前	○	1			1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					（外の教員を助手を除く）	
				必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手		
学域共通基礎科目群	新時代 現代教育の課題	ダイバーシティと教育	1前	○	2		1						
		グローバルイシューと教育	1前	○	2		2						
		SDGsと教育	1前	○	2		1	3					
		SDGsと教育	1前	○	2		3	1					1
	教育の基礎理解	教育原理	1前	○	2		1						
		教職論	1前	○	2		1						
		教育社会学	1前	○	2								1
		教育心理学	1前	○	2		1						
		特別支援教育	1前	○	2		1						
		教育相談	1後	○	2		1						
		教育基礎演習	1前	○	2		5	4	1				
	教育研究力の育成	幼児教育基礎演習	2前	○		2	1	1					
		学校教育基礎演習	2前	○	2		5	2					
		教育学講読	3前	○	2		15	7	2				
		教育学演習	3後	○	2		15	7	2				
		卒業論文 I	4前	○	4		14	7	2				
		卒業論文 II	4後	○	4		14	7	2				
		卒業論文 II	4後	○	4		14	7	2				
	教育実践力の養成	学校インターンシップ I	2前	○		1	2						
		学校インターンシップ II	2後	○		1	2						
		学校インターンシップ III	3前	○		1	2						
		学校インターンシップ IV	3後	○		1	2						
		学校インターンシップ V	4前	○		1	2						
		学校インターンシップ VI	4後	○		1	2						
教職実践演習(幼・小・中)		4後	○	2		6	2	1				1	
小計(24科目)	—	—	—	34	12	0	17	8	2	0	0	3	
教職基幹専門科目	道徳教育の理論と指導法	3前	○	2		1							
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	3前	○	2		2							
	教育の方法及び技術	1後	○	2			1						
	生徒・進路指導論	3前	○	2		1							
	教育課程論	3前	○	2		1							
	ICT活用の理論と実践	1後	○	1		1							
	国語科概説(書写を含む。)	2前	○	2								1	
	社会科概説	2前	○	2		1							
	算数科概説	2前	○	2			1						
	理科概説	2後	○	2		1	1						
小学校教諭専門科目	生活科概説	2前	○	2		1							
	音楽科概説	1後	○	2		1							
	図画工作科概説	2後	○	2		2							
	家庭科概説	2後	○	2		2		1					
	体育科概説	1後	○	2		2			1				
	英語科概説	1後	○	2		1							
	国語科教育法	2後	○	2								1	
	社会科教育法	2後	○	2		1							
	算数科教育法	2後	○	2			1						
	理科教育法	3前	○	2		1	1						
	生活科教育法	2後	○	2		1							
	音楽科教育法	2前	○	2		2							
	図画工作科教育法	3前	○	2		2		1					
	家庭科教育法	3前	○	2		2		1					
体育科教育法	2後	○	2		2			1					
英語科教育法(小)	2前	○	2			1							
介護等体験	2後	○	1		1								
教材研究 I	3後		2		3	2					1		
教材研究 II	3後		2		2	1	1				1		
プログラミング教育	4前	○	2		2		1						
器楽 I	1前	○	1		1						10		
器楽 II	1後	○	1		1						13		
幼稚園教諭専門科目	幼児教育課程総論	2前	○	2		1							
	幼児理解の理論と方法	1後	○	2		1							
	幼児教育の方法及び技術	3前	○	2			1					1	
	幼児と健康	2前	○	1		1		1					
	幼児と言葉	2前	○	1		1		1					
	幼児と人間関係	1後	○	1		1		1					
	幼児と環境	2前	○	1		1		1					
	幼児と表現 I	2前	○	1		1		1					
	幼児と表現 II	1後	○	1		1		1				1	
	保育内容 健康	2後	○	2		2			1				
	保育内容 言葉	3前	○	2		2							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					（外の教員を助手を除く）	
				必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手		
学域共通基礎科目群	新時代 現代教育の課題	ダイバーシティと教育	1前	○	2		1						
		グローバルイシューと教育	1前	○	2		2						
		SDGsと教育	1前	○	2		2	2					
		SDGsと教育	1前	○	2		3	1					1
	教育の基礎理解	教育原理	1前	○	2		1						
		教職論	1前	○	2		1						
		教育社会学	1前	○	2								1
		教育心理学	1前	○	2		1						
		特別支援教育	1前	○	2		1						
		教育相談	1後	○	2		1						
		教育基礎演習	1前	○	2		6	4					
	教育研究力の育成	幼児教育基礎演習	2前	○	2		1	1					
		学校教育基礎演習	2前	○	2		6	1					
		教育学講読	3前	○	2		17	6	1				
		教育学演習	3後	○	2		17	6	1				
		卒業論文 I	4前	○	4		16	6	1				
		卒業論文 II	4後	○	4		16	6	1				
		卒業論文 II	4後	○	4		16	6	1				
	教育実践力の養成	学校インターンシップ I	2前	○		1	2						
		学校インターンシップ II	2後	○		1	2						
		学校インターンシップ III	3前	○		1	2						
		学校インターンシップ IV	3後	○		1	2						
		学校インターンシップ V	4前	○		1	2						
		学校インターンシップ VI	4後	○		1	2						
教職実践演習(幼・小・中)		4後	○	2		8	1					1	
小計(24科目)	—	—	—	34	12	0	19	7	1	0	0	3	
教職基幹専門科目	道徳教育の理論と指導法	3前	○	2		1							
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	3前	○	2		2							
	教育の方法及び技術	1後	○	2		1							
	生徒・進路指導論	3前	○	2		1							
	教育課程論	3前	○	2		1							
	ICT活用の理論と実践	1後	○	1		1							
	国語科概説(書写を含む。)	2前	○	2								1	
	社会科概説	2前	○	2									
	算数科概説	2前	○	2			1						
	理科概説	2後	○	2		1	1						
小学校教諭専門科目	生活科概説	2前	○	2		1							
	音楽科概説	1後	○	2		1							
	図画工作科概説	2後	○	2		2							
	家庭科概説	2後	○	2		2		1					
	体育科概説	1後	○	2		2			1				
	英語科概説	1後	○	2		1							
	国語科教育法	2後	○	2								1	
	社会科教育法	2後	○	2		1							
	算数科教育法	2後	○	2			1						
	理科教育法	3前	○	2		1	1						
	生活科教育法	2後	○	2		1							
	音楽科教育法	2前	○	2		2							
	図画工作科教育法	3前	○	2		2		1					
	家庭科教育法	3前	○	2		2		1					
体育科教育法	2後	○	2		2			1					
英語科教育法(小)	2前	○	2			1							
介護等体験	2後	○	1		1								
教材研究 I	3後		2		4	1					1		
教材研究 II	3後		2		2	2					1		
プログラミング教育	4前	○	2		2		1						
器楽 I	1前	○	1		1						11		
器楽 II	1後	○	1		1						12		
幼稚園教諭専門科目	幼児教育課程総論	2前	○	2		1							
	幼児理解の理論と方法	1後	○	2		1							
	幼児教育の方法及び技術	3前	○	2			1					1	
	幼児と健康	2前	○	1		1		1					
	幼児と言葉	2前	○	1		1		1					
	幼児と人間関係	1後	○	1		1		1					
	幼児と環境	2前	○	1		1		1					
	幼児と表現 I	2前	○	1		1		1					
	幼児と表現 II	1後	○	1		1		1				1	
	保育内容 健康	2後	○	2		2			1				
	保育内容 言葉	3前	○	2		2							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数				基幹教員等の配置					（外の教員、助手を除く）		
				必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手				
小学校教諭専門科目	体育科概説	1後	○	2				1							
	英語科概説	1後	○	2			1								
	国語科教育法	2後	○	2									1		
	社会科教育法	2後	○	2			1								
	算数科教育法	2後	○	2				1							
	理科教育法	3前	○	2			1	1							
	生活科教育法	2後	○	2			1								
	音楽科教育法	2前	○	2			1								
	図画工作科教育法	3前	○	2				1							
	家庭科教育法	3前	○	2				1							
	体育科教育法	2後	○	2					1						
	英語科教育法(小)	2前	○	2			1								
	介護等体験	2後	○	1			1								
	教材研究 I	3後		2			3	2					1		
	教材研究 II	3後		2			2	1	1				1		
	プログラミング教育	4前	○	2				1							
	器楽 I	1前	○	1										10	
	器楽 II	1後	○	1										13	
	義務教育コース専門科目	英語学概論 I	1後	○	2			1							
		英語学概論 II	2前	○	2			1							
英語史		3後	○	2			1								
英文法		2後	○	2			1								
英語音声学		2前	○	2			1								
英語圏文学 I		3前	○	2									1		
英語圏文学 II		3後	○	2									1		
英語コミュニケーション I		1後	○	2			1								
英語コミュニケーション II		2前	○	2			1								
実践英語表現 I		3後	○	2			1								
実践英語表現 II		4前	○	2			1								
海外語学セミナー		2前		3			3								
英語文化教育論		4前	○	2			1								
英語科教育特別演習 I		3前	○	2			1								
英語科教育特別演習 II		3後	○	2			1								
英語科教材研究 I(中)		3前	○	2			1								
英語科教材研究 II(中)		3後		2			1								
児童英語教育概論		4前	○	2			1								
英語圏文学入門		2後	○	2									1		
特別支援学校教諭専門科目		Oral Presentation I	3後	○	1			1							
	Oral Presentation II	4前	○	1			1								
	Speaking & Listening I	3後	○	1			1								
	Speaking & Listening II	4前	○	1			1								
	Basic Writing I	3前	○	1									1		
	Basic Writing II	4前	○	1			1								
	Reading I	3後	○	1									1		
	Reading II	4前	○	1			1								
	発音トレーニング I	1後	○	1									1		
	発音トレーニング II	4前	○	1			1								
	異文化理解教育	1後	○	2							1				
	英語カリキュラム論	2後	○	2			1								
	英語科教育法 I(中)	2前	○	2			1								
	英語科教育法 II(中)	2後	○	2			1								
	英語科教育法 III(中)	3前	○	2			1								
	英語科教育法 IV(中)	3後	○	2			1								
	特別支援学校教諭専門科目	障害者教育総論	1後	○	2			1							
		知的障害者の心理・生理・病理	1後	○	2			1							2
		肢体不自由者の心理・生理・病理	1後	○	2					1					1
		病弱者の心理・生理・病理	2前	○	2					1					
知的障害教育 I		3後	○	1			1			2					
知的障害教育 II		3後	○	1			1			2					
肢体不自由教育 I		4前	○	1			1			1					
肢体不自由教育 II		4前	○	1			1			1					
病弱教育 I		2後	○	1			1			1				1	
病弱教育 II		2後	○	1					1	1				1	
知的障害教育総論		3前	○	2			1			1					
肢体不自由教育総論		2前	○	2			1			2					
病弱教育総論		2後	○	2					1					1	
発達障害児の心理・生理・病理		2前	○	1			1							2	
重複障害者教育論		4前	○	1			1			1					
発達障害者教育論	4後	○	1			1			1						
視覚障害者教育総論	4後	○	1						1				1		
聴覚障害者教育総論	4後	○	1						1				1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数				基幹教員等の配置					（外の教員、助手を除く）		
				必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手				
小学校教諭専門科目	体育科概説	1後	○	2				1							
	英語科概説	1後	○	2			1								
	国語科教育法	2後	○	2									1		
	社会科教育法	2後	○	2			1								
	算数科教育法	2後	○	2				1							
	理科教育法	3前	○	2			1	1							
	生活科教育法	2後	○	2			1								
	音楽科教育法	2前	○	2			1								
	図画工作科教育法	3前	○	2				1							
	家庭科教育法	3前	○	2				1							
	体育科教育法	2後	○	2					1						
	英語科教育法(小)	2前	○	2			1								
	介護等体験	2後	○	1			1								
	教材研究 I	3後		2			4	1					1		
	教材研究 II	3後		2			2	2					1		
	プログラミング教育	4前	○	2				1							
	器楽 I	1前	○	1										11	
	器楽 II	1後	○	1										12	
	義務教育コース専門科目	英語学概論 I	1後	○	2			1							
		英語学概論 II	2前	○	2			1							
英語史		3後	○	2			1								
英文法		2後	○	2			1								
英語音声学		2前	○	2			1								
英語圏文学 I		3前	○	2									1		
英語圏文学 II		3後	○	2									1		
英語コミュニケーション I		1後	○	2			1								
英語コミュニケーション II		2前	○	2			1								
実践英語表現 I		3後	○	2			1								
実践英語表現 II		4前	○	2			1								
海外語学セミナー		2前		3			3								
英語文化教育論		4前	○	2			1								
英語科教育特別演習 I		3前	○	2			1								
英語科教育特別演習 II		3後	○	2			1								
英語科教材研究 I(中)		3前	○	2			1								
英語科教材研究 II(中)		3後		2			1								
児童英語教育概論		4前	○	2			1								
英語圏文学入門		2後	○	2									1		
特別支援学校教諭専門科目		Oral Presentation I	3後	○	1			1							
	Oral Presentation II	4前	○	1			1								
	Speaking & Listening I	3後	○	1			1								
	Speaking & Listening II	4前	○	1			1								
	Basic Writing I	3前	○	1									1		
	Basic Writing II	4前	○	1			1								
	Reading I	3後	○	1									1		
	Reading II	4前	○	1			1								
	発音トレーニング I	1後	○	1									1		
	発音トレーニング II	4前	○	1			1								
	異文化理解教育	1後	○	2						1					
	英語カリキュラム論	2後	○	2			1								
	英語科教育法 I(中)	2前	○	2			1								
	英語科教育法 II(中)	2後	○	2			1								
	英語科教育法 III(中)	3前	○	2			1								
	英語科教育法 IV(中)	3後	○	2			1								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					（外の教員、助手を除く）
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
義務教育コース 実習科目 義務教育コース専門科目群	教育実習指導Ⅰ(小・中)	3前	○	1		2						
	教育実習指導Ⅱ(小・中)	3前	○	1		2						
	教育実習Ⅰ(小・中)	3後	○	2		2						
	教育実習Ⅱ(小・中)	3後	○	2		2						
	教育実習Ⅲ(小・中)	3後	○	2		2						
	教育実習Ⅳ(小・中)	3後	○	2		2						
	教育実習指導(特支)	4前	○	1		1						
	教育実習(特支)	4前	○	2		1						
	小計(93科目)	—	—	—	58	101	0	13	5	2	0	0
合計(402科目)	—	—	—	215	463	0	17	8	2	0	0	100
卒業要件及び履修方法												
【幼児教育コース】 全学共通教養科目15単位以上、学科共通基礎科目群及び幼児教育コース専門科目群から56単位以上を修得し、合計124単位以上修得すること。 (履修科目の登録上限:48単位(年間))												
【初等教育コース】 全学共通教養科目15単位以上、学科共通基礎科目群及び初等教育コース専門科目群から67単位以上を修得し、合計124単位以上修得すること。 (履修科目の登録上限:48単位(年間))												
【義務教育コース】 全学共通教養科目15単位以上、学科共通基礎科目群及び義務教育コース専門科目群から92単位以上を修得し、合計124単位以上修得すること。 (履修科目の登録上限:48単位(年間))												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					（外の教員、助手を除く）
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
義務教育コース 実習科目 義務教育コース専門科目群	教育実習指導Ⅰ(小・中)	3前	○	1		2						
	教育実習指導Ⅱ(小・中)	3前	○	1		2						
	教育実習Ⅰ(小・中)	3後	○	2		2						
	教育実習Ⅱ(小・中)	3後	○	2		2						
	教育実習Ⅲ(小・中)	3後	○	2		2						
	教育実習Ⅳ(小・中)	3後	○	2		2						
	教育実習指導(特支)	4前	○	1		1						
	教育実習(特支)	4前	○	2		1						
	小計(93科目)	—	—	—	58	101	0	15	4	1	0	0
合計(402科目)	—	—	—	215	463	0	19	7	1	0	0	111
卒業要件及び履修方法												
【幼児教育コース】 全学共通教養科目15単位以上、学科共通基礎科目群及び幼児教育コース専門科目群から56単位以上を修得し、合計124単位以上修得すること。 (履修科目の登録上限:48単位(年間))												
【初等教育コース】 全学共通教養科目15単位以上、学科共通基礎科目群及び初等教育コース専門科目群から67単位以上を修得し、合計124単位以上修得すること。 (履修科目の登録上限:48単位(年間))												
【義務教育コース】 全学共通教養科目15単位以上、学科共通基礎科目群及び義務教育コース専門科目群から92単位以上を修得し、合計124単位以上修得すること。 (履修科目の登録上限:48単位(年間))												

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- ・ 「基幹教員等の配置」欄は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等の配置」としてください。
- ・ 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員(助手を除く)」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員(助手を除く)」としてください。
- ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼任教員)が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。
- ・ その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
- ・ なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、「認可時又は届出時」の「主要授業科目」欄は削除し、「基幹教員等の配置」欄は「専任教員等の配置」、「基幹教員以外の教員(助手を除く)」欄は「兼任・兼担」としてください。その上で、各年度については、「基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)」数は、認可時又は届出時の「専任教員」数との比較において変更となっている箇所、「基幹教員以外の教員(助手を除く)(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員以外の教員(助手を除く)」)」数は、認可時又は届出時の「兼任・兼担」数との比較において変更となっている箇所を**赤字**としてください。
- ・ (専任教員から基幹教員に変更したことをもって赤字とする必要はありません。)
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- ・ 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。(例:記載順)「認可時又は届出時」→【令和7年度】(新)→【令和6年度】(新)→【令和5年度】(新)→【令和4年度】(旧)→【令和7年度】(旧)→【令和6年度】(旧)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和7年度】

- ・授業時間割編成の調整により、「基礎Ⅱ」の基幹教員以外の教員を「1」から「2」へ変更。
- ・授業時間割編成の調整により、「英語Ⅰ-1」「英語Ⅰ-2」の基幹教員以外の教員を「1」から「2」へ変更。
- ・授業時間割編成の調整により、「ドイツ語Ⅰ-1」「ドイツ語Ⅰ-2」の基幹教員以外の教員を「1」から「2」へ変更。
- ・授業時間割編成の調整により、「フランス語Ⅰ-1」「フランス語Ⅰ-2」の基幹教員以外の教員を「1」から「2」へ変更。
- ・授業時間割編成の調整により、「中国語Ⅰ-1」「中国語Ⅰ-2」の基幹教員以外の教員を「1」から「3」へ変更。
- ・授業時間割編成の調整により、「中国語Ⅰ(速習)」「中国語Ⅱ(速習)」の基幹教員以外の教員を「2」から「4」へ変更。
- ・授業時間割編成の調整により、「朝鮮語Ⅰ-1」「朝鮮語Ⅰ-2」の基幹教員以外の教員を「1」から「4」へ変更。
- ・授業時間割編成の調整により、「イタリア語Ⅰ-1」「イタリア語Ⅰ-2」の基幹教員以外の教員を「1」から「3」へ変更。
- ・担当教員(准教授)の就任辞退により基幹教員(教授)を新規採用したことに伴い、「情報A」の基幹教員等の配置を「准教授2」から「教授1・准教授1」へ変更。
- ・担当教員(准教授)の就任辞退のため基幹教員(教授)を新規採用したことに伴い、「情報B」の基幹教員等の配置を「准教授1」から「教授1」へ変更。
- ・担当教員の昇任により、「基礎トレーニング」の基幹教員等の配置を「講師1」から「准教授1」へ変更。
- ・担当教員の昇任により、「スポーツ実技Ⅳ(テニス)」の基幹教員等の配置を「講師1」から「准教授1」へ変更。
- ・担当教員の昇任により、「スポーツ実技Ⅴ(学外)」の基幹教員等の配置を「講師1」から「准教授1」へ変更。
- ・授業時間割編成の調整と教育効果を高めるため、「スポーツ実技Ⅴ(学外)」の基幹教員以外の教員を「1」から「2」へ変更。
- ・担当教員の退任により、「哲学」「思想」の基幹教員以外の教員を「1」から空欄にし、基幹教員等の配置を空欄から「1」へ変更。
- ・担当教員の退任により、「心からの健康」の基幹教員以外の教員を「3」から「1」へ変更し、基幹教員等の配置は担当教員交代及び担当者の昇任に伴い「准教授1・講師1」から「教授1・准教授2」へ変更。
- ・授業内容の充実を図り、「現代社会Ⅱ」をオムニバス授業とし、基幹教員以外の教員を「1」から「2」へ変更。
- ・担当教員の昇任により、「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」の基幹教員等の配置を「准教授1」を「教授1」へ変更。
- ・授業内容の充実を図り、「教養総合Ⅰ」の基幹教員以外の教員「1」から「2」へ変更。
- ・授業内容の充実を図り、「教養総合Ⅱ」の基幹教員以外の教員「1」から「5」へ変更。
- ・授業内容の充実を図り、「教養演習Ⅰ」の基幹教員以外の教員「1」から「2」へ変更。
- ・担当教員の昇任により、「教養演習Ⅱ」の基幹教員等の配置を「准教授1」から「教授1」へ変更。
- ・担当教員(准教授)の就任辞退により基幹教員(教授)を新規採用したことに伴い、「グローバルイシューと教育」の基幹教員等の配置を「教授1・准教授3」から「教授2・准教授2」へ変更。
- ・担当教員(准教授)の就任辞退により基幹教員(教授)を新規採用したことに伴い、「教育基礎演習」の基幹教員等の配置を「教授5・准教授4・講師1」から「教授6・准教授4」へ変更。
- ・担当教員の昇任により、「学校教育基礎演習」の基幹教員等の配置を「教授5・准教授2」から「教授6・准教授1」へ変更。
- ・担当教員(准教授)の就任辞退により基幹教員(教授)を新規採用及び担当教員の昇任により、「教育学講読」「教育学演習」の基幹教員等の配置を「教授15・准教授7・講師2」から「教授17・准教授6・講師1」へ変更。
- ・担当教員(准教授)の就任辞退により基幹教員(教授)を新規採用及び担当教員の昇任により、「卒業論文Ⅰ」「卒業論文Ⅱ」の基幹教員等の配置を「教授14・准教授7・講師2」から「教授16・准教授6・講師1」へ変更。
- ・担当教員(准教授)の就任辞退により基幹教員(教授)を新規採用及び担当教員の昇任により、「教職実践演習(幼・小・中)」の基幹教員等の配置を「教授6・准教授2・講師1」から「教授8・准教授1」へ変更。
- ・担当教員(准教授)の就任辞退により基幹教員(教授)を新規採用したことに伴い、「ICT活用の理論と実践」「教育の方法及び技術」「プログラミング教育」の基幹教員等の配置を「准教授1」から「教授1」へ変更。
- ・担当教員の昇任により、「幼児と健康」「保育内容 健康」の基幹教員等の配置を「講師1」から「准教授1」へ変更。
- ・授業時間割編成の調整により、「器楽Ⅰ」の基幹教員以外の教員を「10」から「11」へ、「器楽Ⅱ」の基幹教員以外の教員を「13」から「12」へ変更。
- ・教職課程認定申請時の文部科学省担当課からの指摘により担当教員の変更が生じたため、「知的障害者の心理・生理・病理」の基幹教員等の配置を「教授1」から空欄へ、基幹教員以外の教員を空欄から「2」へ変更。
- ・教職課程認定申請時の文部科学省担当課からの指摘により担当教員の変更が生じたため、「肢体不自由者の心理・生理・病理」の基幹教員以外の教員を空欄から「1」へ変更。
- ・教職課程認定申請時の文部科学省担当課からの指摘により担当教員の変更が生じたため、「知的障害教育Ⅰ」「知的障害教育Ⅱ」の基幹教員等の配置を「教授1」から「教授2」へ変更。
- ・教職課程認定申請時の文部科学省担当課からの指摘により担当教員の変更が生じたため、「病弱教育Ⅰ」の基幹教員以外の教員を空欄から「1」へ変更。
- ・教職課程認定申請時の文部科学省担当課からの指摘により担当教員の変更が生じたため、「病弱教育Ⅱ」の基幹教員等の配置を「講師1」から「教授1」へ変更。
- ・教職課程認定申請時の文部科学省担当課からの指摘により担当教員の変更が生じたため、「病弱教育総論」の基幹教員等の配置を「講師1」から空欄へ、基幹教員以外の教員を空欄から「1」へ変更。
- ・教職課程認定申請時の文部科学省担当課からの指摘により担当教員の変更が生じたため、「発達障害児の心理・生理・病理」の基幹教員等の配置を「講師1」から空欄へ、基幹教員以外の教員を空欄から「2」へ変更。
- ・教職課程認定申請時の文部科学省担当課からの指摘により科目区分に変更が生じたため、科目名称を「重複障害者教育論」から「重複障害者教育総論」へ変更。
- ・担当教員の昇任により、「算数科概説」「算数科教育法」の基幹教員等の配置を「准教授1」を「教授1」へ変更。
- ・担当教員の昇任により、「体育科概説」「体育科教育法」の基幹教員等の配置を「講師1」を「准教授1」へ変更。
- ・担当教員の昇任により、「教材研究Ⅰ」の基幹教員等の配置を「教授3・准教授2」を「教授4・准教授1」へ変更。
- ・担当教員の昇任により、「教材研究Ⅱ」の基幹教員等の配置を「教授2・准教授1・講師1」を「教授2・准教授2」へ変更。
- ・より充実した教育内容とするため、「異文化理解教育」の基幹教員以外の教員を「1」から空欄へ、基幹教員等の配置を空欄から「教授1」へ変更。

- (注) 2 (1) -① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年度の変更、基幹教員等の配置の変更、主要授業科目の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。
- 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。また、改正後大学設置基準(令和4年10月1日施行)の適用により、専任教員から基幹教員に変更した場合(例:「専任教員 教授1」から「基幹教員 教授1」に変更)や、兼任・兼任教員から基幹教員以外の教員に変更した場合(例:「兼任教員1」から「基幹教員以外の教員1」に変更)については、記入しないでください。
 - ・不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・指定規則の改正により、新旧がキレムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
108 科目	294 科目	0 科目	402 科目	108 科目 []	294 科目 []	0 科目 []	402 科目 []	

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{402} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	神戸女子短期大学(収容定員240人、2,400㎡)と共用		
	校舎敷地	70,600.00㎡	4,174.00㎡	23,669.04㎡	98,447.04㎡			
	その他	62,789.12㎡	0.00㎡	855.80㎡	63,644.92㎡			
	合計	133,389.12㎡	4,174.00㎡	24,524.84㎡	162,087.96㎡			
(2) 校舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	神戸女子短期大学(収容定員240人、必要面積4,500㎡)と共用		
		48,443.29㎡ (48,443.29㎡)	7,085.46㎡ (7,085.46㎡)	21,253.33㎡ (21,253.33㎡)	76,782.08㎡ 76,782.08㎡			
(3) 教室・教員研究室		教 室	169室	教員研究室	28室			
(4) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書		学術雑誌		機械・器具 点	標本 点	機械・器具及び標本は、学部等单位での特定不能なため、大学全体の数 学生の修学環境の充実を図る。電子図書は教育研究活動に有益となるものを残し削減。 (7)
		〔うち外国書〕	電子図書 〔うち外国書〕	〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕			
	冊	冊	種	種				
	教育学部教育学科	21,330 [2,161] 21,027 [2,159] (21,330 [2,161]) -(21,027 [2,159])	129 [0] -140 [-0] (129 [0]) -(-140 [-0])	265 [177] -(-108 [-21]) (265 [177]) -(-108 [-21])	156 [156] -(-32 [-32]) (156 [156]) -(-32 [-32])	12,726 (12,726)	19 (19)	
計	21,330 [2,161] 21,027 [2,159] (21,330 [2,161]) -(21,027 [2,159])	129 [0] -140 [-0] (129 [0]) -(-140 [-0])	265 [177] -108 [-21] (265 [177]) -(-108 [-21])	156 [156] 32 [-32] (156 [156]) -(-32 [-32])	12,726 (12,726)	19 (19)		
(5) スポーツ施設等	スポーツ施設		講堂		厚生補導施設		大学全体	
	772.26㎡		0㎡		3,031.34㎡			
(6) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	175千円	175千円	図書購入費	851千円	851千円	851千円
	共同研究費等	757千円	757千円	設備購入費	3,000千円	3,000千円	3,000千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,340千円	1,190千円	1,190千円	1,190千円	—	—	
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入 等					

- (注)・設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)又は(その1の3)に準じて作成してください。
(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA C対象学部等の数値を記入してください。)
- ・「(4)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・校舎等建物の計画の変更(校舎の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・高等専門学校については「(3)教室・教員研究室」欄の「教員研究室」は記載不要です。
 - ・国立大学については「(6)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	神戸女子大学							収容定員充足率0.7倍以下の学科数	7	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
文学部	4	240	-	960	-	0.44	-	-	昭和44	-	
日本語日文学科	4	60	-	240	学士(日本語日文学)	0.61	-	-	平成18	兵庫県神戸市須磨区東須磨青山2番1号	
英語英米文学科	4	60	-	240	学士(英語英米文学)	0.35	-	-	平成18	同上	
国際教養学科	4	60	-	240	学士(国際教養学)	0.29	-	令和3	平成18	同上	令和3年度から入学定員変更(40→60)
史学科	4	60	-	240	学士(歴史学)	0.50	-	-	昭和44	同上	
教育学科	4	-	-	-	学士(教育学)	-	-	-	昭和44	同上	令和7年4月入学生より学生募集停止
教育学部	4	130	-	130	-	0.59	-	-	令和7	-	
教養学科	4	130	-	130	学士(教育学)	0.59	-	-	令和7	兵庫県神戸市須磨区東須磨青山2番1号	令和7年4月開設
健康福祉学部	4	160	-	640	-	0.70	-	-	平成18	-	
社会福祉学科	4	80	-	320	学士(社会福祉学)	0.58	-	-	平成18	兵庫県神戸市中央区港島中町4丁目7番2号	
健康スポーツ栄養学科	4	80	-	320	学士(栄養学)	0.81	-	-	平成21	同上	
家政学部	4	230	3年次10	940	-	0.70	-	-	昭和41	-	
家政学科	4	80	-	320	学士(家政学)	0.57	-	-	昭和41	兵庫県神戸市須磨区東須磨青山2番1号	
管理栄養士養成課程	4	150	3年次10	620	学士(栄養学)	0.77	-	-	昭和43	同上	
看護学部	4	90	-	360	-	1.09	-	-	平成27	-	
看護学科	4	90	-	360	学士(看護学)	1.09	-	-	平成27	兵庫県神戸市中央区港島中町4丁目7番2号	
心理学部	4	80	-	320	-	1.04	-	-	令和4	-	
心理学科	4	80	-	320	学士(心理学)	1.04	-	-	令和4	兵庫県神戸市中央区港島中町4丁目7番2号	令和4年4月開設
大学全体	4	930	3年次10	3350	-	-	-	-	-	-	

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
 ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとに、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和8年度開設)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 ・「収容定員充足率(控除後含む)」には、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。
 詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご確認ください。

5 教育研究実施組織の状況

<教育学部 教育学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和7年度】

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
基(主専)	教授	イナガキ ヨシシゲ 稲垣 善茂 <令和7年4月> 博士(薬学)	自然と環境Ⅰ 自然と環境Ⅱ 自然と環境Ⅲ 自然と環境Ⅳ SDGsと教育※ 教育基礎演習 教育学講義 教育学演習 卒業論文Ⅰ 卒業論文Ⅱ 理科概説 理科教育法 教材研究Ⅰ※	基(主専)	教授	イナガキ ヨシシゲ 稲垣 善茂 <令和7年4月> 博士(薬学)	自然と環境Ⅰ 自然と環境Ⅱ 自然と環境Ⅲ 自然と環境Ⅳ SDGsと教育※ 教育基礎演習 教育学講義 教育学演習 卒業論文Ⅰ 卒業論文Ⅱ 理科概説 理科教育法 教材研究Ⅰ※
基(主専)	教授	ウエノ マサノリ 上野 昌穂 <令和7年4月> 教育学士	ダイバーシティと教育※ 教育学講義 教育学演習 卒業論文Ⅰ 卒業論文Ⅱ 知的障害教育Ⅰ 知的障害教育Ⅱ 肢体不自由教育Ⅰ 肢体不自由教育Ⅱ 視覚教育Ⅰ 肢体不自由教育総論 重複障害者教育論 教育実習指導(特支) 教育実習(特支)	基(主専)	教授	ウエノ マサノリ 上野 昌穂 <令和7年4月> 教育学士	ダイバーシティと教育※ 教育学講義 教育学演習 卒業論文Ⅰ 卒業論文Ⅱ 知的障害教育Ⅰ※ 知的障害教育Ⅱ※ 肢体不自由教育Ⅰ 肢体不自由教育Ⅱ 視覚教育Ⅰ※ 視覚教育Ⅱ※ 肢体不自由教育総論 重複障害者教育論 教育実習指導(特支) 教育実習(特支)
基(主専)	教授	カナイワ トシアキ 金岩 俊明 <令和7年4月> 修士(学校教育学)	教養演習Ⅰ SDGsと教育※ 学校教育基礎演習 教育学講義 教育学演習 卒業論文Ⅰ 卒業論文Ⅱ 教職実習演習(幼・小・中)※ 教材研究Ⅰ※ 幼児と環境 特別活動及び総合的な学習の時間 の指導法※ 生活科概説 生活科教育法	基(主専)	教授	カナイワ トシアキ 金岩 俊明 <令和7年4月> 修士(学校教育学)	教養演習Ⅰ SDGsと教育※ 学校教育基礎演習 教育学講義 教育学演習 卒業論文Ⅰ 卒業論文Ⅱ 教職実習演習(幼・小・中)※ 教材研究Ⅰ※ 幼児と環境 特別活動及び総合的な学習の時間 の指導法※ 生活科概説 生活科教育法
基(主専)	教授	クキヤマ ケンイチ 久木山 健一 <令和7年4月> 博士(心理学)	心理学Ⅰ 心理学Ⅱ 教育心理学 教育基礎演習 教育学講義 教育学演習 卒業論文Ⅰ 卒業論文Ⅱ	基(主専)	教授	クキヤマ ケンイチ 久木山 健一 <令和7年4月> 博士(心理学)	心理学Ⅰ 心理学Ⅱ 教育心理学 教育基礎演習 教育学講義 教育学演習 卒業論文Ⅰ 卒業論文Ⅱ
基(主専)	教授	コバヤシ タツコ 小林 田鶴子 <令和7年4月> 教育学修士	学校教育基礎演習 教育学講義 教育学演習 卒業論文Ⅰ 卒業論文Ⅱ 教職実習演習(幼・小・中)※ 幼児と表現Ⅰ 保育内容・表現※ 音楽科概説 音楽科教育法 教材研究Ⅱ※	基(主専)	教授	コバヤシ タツコ 小林 田鶴子 <令和7年4月> 教育学修士	学校教育基礎演習 教育学講義 教育学演習 卒業論文Ⅰ 卒業論文Ⅱ 教職実習演習(幼・小・中)※ 幼児と表現Ⅰ 保育内容・表現※ 音楽科概説 音楽科教育法 教材研究Ⅱ※
基(主専)	教授	サイトウ ユキ 齋藤 由紀 <令和7年4月> 修士(教育学)※	教育基礎演習 教育学講義 教育学演習 卒業論文Ⅰ 卒業論文Ⅱ 英語科概説 英語科 英語英語表現Ⅱ 海外語セミナー 英語科教育特別演習Ⅰ 原簿英語教育概論 Speaking & ListeningⅠ Speaking & ListeningⅡ 英語力リキュラム論 英語科教育法Ⅰ(中) 英語科教育法Ⅳ(中)	基(主専)	教授	サイトウ ユキ 齋藤 由紀 <令和7年4月> 修士(教育学)※	教育基礎演習 教育学講義 教育学演習 卒業論文Ⅰ 卒業論文Ⅱ 英語科概説 英語科 英語英語表現Ⅱ 海外語セミナー 英語科教育特別演習Ⅰ 原簿英語教育概論 Speaking & ListeningⅠ Speaking & ListeningⅡ 英語力リキュラム論 英語科教育法Ⅰ(中) 英語科教育法Ⅳ(中)

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	
基(主専)	教授	サカシタ ナオコ 坂下 直子 <令和7年4月> 修士(教育学)	サカシタ ナオコ 坂下 直子 <令和7年4月> 修士(教育学)
基(主専)	教授	サトウ ヒロキ 佐藤 浩樹 <令和7年4月> 修士(教育学)	サトウ ヒロキ 佐藤 浩樹 <令和7年4月> 修士(教育学)
基(主専)	教授	タナカ ミキコ 田中 美紀子 <令和7年4月> Doktorin der Philosophie (ドイツ)	タナカ ミキコ 田中 美紀子 <令和7年4月> Doktorin der Philosophie (ドイツ)
基(主専)	教授	タナカ ユウイチ 田中 裕一 <令和7年4月> 修士(学校教育学)	タナカ ユウイチ 田中 裕一 <令和7年4月> 修士(学校教育学)
基(主専)	教授	タニヤマ ユウコ 谷山 優子 <令和7年4月> 博士(臨床教育学)	タニヤマ ユウコ 谷山 優子 <令和7年4月> 博士(臨床教育学)
基(主専)	教授	ホンダ アキコ 本多 明子 <令和7年4月> 博士(言語学)	ホンダ アキコ 本多 明子 <令和7年4月> 博士(言語学)
基(主専)	教授	ミズノ クニタロウ 水野 邦太郎 <令和7年4月> 博士(比較社会文化)	ミズノ クニタロウ 水野 邦太郎 <令和7年4月> 博士(比較社会文化)

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	
基(主専)	教授	ミヤガキ サトル 宮垣 颯 <令和7年4月> 修士(学校教育学)	ミヤガキ サトル 宮垣 颯 <令和7年4月> 修士(学校教育学)
		SDGsと教育※ 学校インターンシップⅠ 学校インターンシップⅡ 学校インターンシップⅢ 学校インターンシップⅣ 学校インターンシップⅤ 学校インターンシップⅥ 教育課程論 教育実習指導Ⅰ(小・中) 教育実習指導Ⅱ(小・中) 教育実習Ⅰ(小・中) 教育実習Ⅱ(小・中) 教育実習Ⅲ(小・中) 教育実習Ⅳ(小・中)	SDGsと教育※ 学校インターンシップⅠ 学校インターンシップⅡ 学校インターンシップⅢ 学校インターンシップⅣ 学校インターンシップⅤ 学校インターンシップⅥ 教育課程論 教育実習指導Ⅰ(小・中) 教育実習指導Ⅱ(小・中) 教育実習Ⅰ(小・中) 教育実習Ⅱ(小・中) 教育実習Ⅲ(小・中) 教育実習Ⅳ(小・中)
基(主専)	教授 (学部長)	ミヤケ シゲオ 三宅 茂夫 <令和7年4月> 博士(学校教育学)	ミヤケ シゲオ 三宅 茂夫 <令和7年4月> 博士(学校教育学)
		教育学講義 教育学演習 卒業論文Ⅰ 卒業論文Ⅱ 教職実習演習(幼・小・中)※ 幼児教育課程総論 幼児課程の理論と方法 保育内容・人間関係 保育内容 環境 保育原理 保育者論 教育実習Ⅰ 教育実習指導Ⅰ(保育所) 教育実習Ⅱ 教育実習指導Ⅱ	教育学講義 教育学演習 卒業論文Ⅰ 卒業論文Ⅱ 教職実習演習(幼・小・中)※ 幼児教育課程総論 幼児課程の理論と方法 保育内容・人間関係 保育内容 環境 保育原理 保育者論 教育実習Ⅰ 教育実習指導Ⅰ(保育所) 教育実習Ⅱ 教育実習指導Ⅱ
基(主専)	教授	ミヤモト アキオ 宮本 晃郎 <令和7年4月> 学士(教育学)	ミヤモト アキオ 宮本 晃郎 <令和7年4月> 学士(教育学)
		教職論 学校インターンシップⅠ 学校インターンシップⅡ 学校インターンシップⅢ 学校インターンシップⅣ 学校インターンシップⅤ 学校インターンシップⅥ 教職実習演習(幼・小・中)※ 介護実習 教育実習指導Ⅰ(幼・小) 教育実習指導Ⅱ(幼・小) 教育実習Ⅰ(幼・小) 教育実習Ⅱ(幼・小) 教育実習Ⅲ(幼・小) 教育実習Ⅳ(幼・小) 教育実習指導Ⅰ(小・中) 教育実習指導Ⅱ(小・中) 教育実習Ⅰ(小・中) 教育実習Ⅱ(小・中) 教育実習Ⅲ(小・中) 教育実習Ⅳ(小・中)	教職論 学校インターンシップⅠ 学校インターンシップⅡ 学校インターンシップⅢ 学校インターンシップⅣ 学校インターンシップⅤ 学校インターンシップⅥ 教職実習演習(幼・小・中)※ 介護実習 教育実習指導Ⅰ(幼・小) 教育実習指導Ⅱ(幼・小) 教育実習Ⅰ(幼・小) 教育実習Ⅱ(幼・小) 教育実習Ⅲ(幼・小) 教育実習Ⅳ(幼・小) 教育実習指導Ⅰ(小・中) 教育実習指導Ⅱ(小・中) 教育実習Ⅰ(小・中) 教育実習Ⅱ(小・中) 教育実習Ⅲ(小・中) 教育実習Ⅳ(小・中)
基(主専)	教授	ヤマウチ ノリユキ 山内 紀幸 <令和7年4月> 博士(教育学)	ヤマウチ ノリユキ 山内 紀幸 <令和7年4月> 博士(教育学)
		現代教育の課題 教育原理 幼児教育基礎演習 教育学講義 教育学演習 卒業論文Ⅰ 卒業論文Ⅱ	現代教育の課題 教育原理 幼児教育基礎演習 教育学講義 教育学演習 卒業論文Ⅰ 卒業論文Ⅱ
基(主専)	教授	ヤマサキ センジ 山崎 宣次 <令和7年4月> 博士(学校教育学)	ヤマサキ センジ 山崎 宣次 <令和7年4月> 博士(学校教育学)
		情報A 情報B グローバルイシューと教育※ 教育基礎演習 教育学講義 教育学演習 卒業論文Ⅰ 卒業論文Ⅱ 教職実習演習(幼・小・中)※ ICT活用の理論と実践 教育の方法及び技術 プログラミング教育	情報A 情報B グローバルイシューと教育※ 教育基礎演習 教育学講義 教育学演習 卒業論文Ⅰ 卒業論文Ⅱ 教職実習演習(幼・小・中)※ ICT活用の理論と実践 教育の方法及び技術 プログラミング教育
基(主専)	准教授	アナダ キョウスケ 穴田 恭輔 <令和7年4月> 博士(学術)	アナダ キョウスケ 穴田 恭輔 <令和7年4月> 博士(学術)
		数学Ⅰ 数学Ⅱ 数表演習Ⅱ 学級教育基礎演習 教育学講義 教育学演習 卒業論文Ⅰ 卒業論文Ⅱ 教職実習演習(幼・小・中)※ 教材研究Ⅰ※ 算数科概説 算数科教育法	数学Ⅰ 数学Ⅱ 数表演習Ⅱ 学級教育基礎演習 教育学講義 教育学演習 卒業論文Ⅰ 卒業論文Ⅱ 教職実習演習(幼・小・中)※ 教材研究Ⅰ※ 算数科概説 算数科教育法

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
基(主専)	准教授	イシダ ユウコ 石田 裕子 <令和7年4月> 修士(教育学) ※	幼児教育基礎演習 教育学講義 教育学演習 卒業論文Ⅰ 卒業論文Ⅱ 幼児と人間関係 乳児保育Ⅰ 乳児保育Ⅱ 子どもの理解と発達Ⅰ 子どもの理解と発達Ⅱ 保育実習Ⅰ 保育実習指導Ⅰ(保育所) 保育実習Ⅱ 保育実習指導Ⅱ	基(主専)	准教授	イシダ ユウコ 石田 裕子 <令和7年4月> 修士(教育学) ※	幼児教育基礎演習 教育学講義 教育学演習 卒業論文Ⅰ 卒業論文Ⅱ 幼児と人間関係 乳児保育Ⅰ 乳児保育Ⅱ 子どもの理解と発達Ⅰ 子どもの理解と発達Ⅱ 保育実習Ⅰ 保育実習指導Ⅰ(保育所) 保育実習Ⅱ 保育実習指導Ⅱ
基(主専)	准教授	オキ アツミ 隠岐 厚美 <令和7年4月> 博士(教育学)	心とからだの健康※ 教育基礎演習 教育学講義 教育学演習 卒業論文Ⅰ 卒業論文Ⅱ 幼児と言葉 保育内容 言葉 保育の心理学 障がい児保育	基(主専)	准教授	オキ アツミ 隠岐 厚美 <令和7年4月> 博士(教育学)	心とからだの健康※ 教育基礎演習 教育学講義 教育学演習 卒業論文Ⅰ 卒業論文Ⅱ 幼児と言葉 保育内容 言葉 保育の心理学 障がい児保育
基(主専)	准教授	クロダ マサカツ 黒田 昌克 <令和7年4月> 博士(学校教育学)	情報A 情報B グローバルイシューと教育※ 教育基礎演習 教育学講義 教育学演習 卒業論文Ⅰ 卒業論文Ⅱ 教職実践演習(幼・小・中) ※ ICT活用の理論と実践 教育の方法及び技術 プログラミング教育	基(主専)	准教授		
基(主専)	准教授	コマキ(オクガワ) アカリ 小巻(奥川) あかり <令和7年4月> 博士(生活造形学)	グローバルイシューと教育※ 教育基礎演習 子どもの食と栄養 家庭科概説 家庭科教育法 教材研究Ⅱ ※	基(主専)	准教授	コマキ(オクガワ) アカリ 小巻(奥川) あかり <令和7年4月> 博士(生活造形学)	グローバルイシューと教育※ 教育基礎演習 子どもの食と栄養 家庭科概説 家庭科教育法 教材研究Ⅱ ※
基(主専)	准教授	タケダ カズエ 竹田 和恵 <令和7年4月> 博士(学術)	情報A 教育学講義 教育学演習 卒業論文Ⅰ 卒業論文Ⅱ 幼児教育の方法及び技術 ※	基(主専)	准教授	タケダ カズエ 竹田 和恵 <令和7年4月> 博士(学術)	情報A 教育学講義 教育学演習 卒業論文Ⅰ 卒業論文Ⅱ 幼児教育の方法及び技術 ※
基(主専)	准教授	ムラタ ケイコ 村田 恵子 <令和7年4月> 博士(理学)	自然と環境Ⅱ SDGsと教育 ※ 学校教育基礎演習 教育学講義 教育学演習 卒業論文Ⅰ 卒業論文Ⅱ 理科概説 理科教育法 教材研究Ⅰ ※	基(主専)	准教授	ムラタ ケイコ 村田 恵子 <令和7年4月> 博士(理学)	自然と環境Ⅱ SDGsと教育 ※ 学校教育基礎演習 教育学講義 教育学演習 卒業論文Ⅰ 卒業論文Ⅱ 理科概説 理科教育法 教材研究Ⅰ ※
基(主専)	准教授	モリモト トモミ 守本 智美 <令和7年4月> 博士(美術)	グローバルイシューと教育 ※ 教育基礎演習 教育学講義 教育学演習 卒業論文Ⅰ 卒業論文Ⅱ 幼児と表現Ⅱ ※ 図画工作科概説 図画工作科教育法	基(主専)	准教授	モリモト トモミ 守本 智美 <令和7年4月> 博士(美術)	グローバルイシューと教育 ※ 教育基礎演習 教育学講義 教育学演習 卒業論文Ⅰ 卒業論文Ⅱ 幼児と表現Ⅱ ※ 図画工作科概説 図画工作科教育法

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名
		担当授業科目名		
基(主専)	講師	スミモト アツシ 住本 純 <令和7年4月> 博士(教育学)	スミモト アツシ 住本 純 <令和7年4月> 博士(教育学)	准教授
		基礎トレーニング スポーツ実技Ⅳ(テニス) スポーツ実技Ⅴ(学外) 心とからだの健康※ 教育基礎演習 教育学講義 教育学演習 卒業論文Ⅰ 卒業論文Ⅱ 教職実践演習(幼・小・中)※ 幼児と健康 保育内容・健康 体育科概説 体育科教育法 教材研究Ⅱ※		
基(主専)	講師	ヤマモト ヒロコ 山本 裕子 <令和8年4月> 修士(人間科学)	ヤマモト ヒロコ 山本 裕子 <令和8年4月> 修士(人間科学)	講師
		教育学講義 教育学演習 卒業論文Ⅰ 卒業論文Ⅱ 子どもの保健 病弱者の心理・生理・病理 病弱者Ⅱ 病弱者総論	教育学講義 教育学演習 卒業論文Ⅰ 卒業論文Ⅱ 子どもの保健 病弱者の心理・生理・病理	
その他	講師	ヤマモト ヒロコ 山本 裕子 <令和7年4月> 修士(人間科学)	ヤマモト ヒロコ 山本 裕子 <令和7年4月> 修士(人間科学)	講師
		肢体不自由者の心理・生理・病理	肢体不自由者の心理・生理・病理※	
			セトヤマ ユウ 瀬戸山 悠 <令和7年4月> 臨床心理修士(専門職)※	講師
その他		知的障害者の心理・生理・病理※ 発達障害者の心理・生理・病理※		
			タカダ サトシ 高田 賢 <令和7年4月> 医学博士	講師
その他		知的障害者の心理・生理・病理※ 肢体不自由者の心理・生理・病理※ 発達障害者の心理・生理・病理※		
その他	講師		ニワ ノボル 丹羽 暁 <令和8年4月> 修士(学校教育学)	講師
			発達教育Ⅰ※ 発達教育Ⅱ※ 発達教育総論	
その他	講師	ホリエ ユウジ 堀江 祐爾 <令和8年4月> 修士(教育学)		講師
		教職実践演習(幼・小・中)※ 国語科概説(書きを含む。) 国語科教育法 教材研究Ⅰ※		
			キツカワ ヨシノリ 吉川 芳規 <令和8年4月> 博士(学校教育学)	講師
			養護実践演習(幼・小・中)※ 国語科概説(書きを含む。) 国語科教育法 教材研究Ⅰ※	

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名
その他	講師	オオニシ マサヒロ 大西 雅裕 <令和7年4月> 修士(社会学)	講師	オオニシ マサヒロ 大西 雅裕 <令和7年4月> 修士(社会学)
		神戸学※ 地域学※ SDGsと教育※ 社会福祉 社会的養護Ⅰ 社会的養護Ⅱ 子育て支援 障害学Ⅲ 保育実習Ⅲ		神戸学※ 地域学※ SDGsと教育※ 社会福祉 社会的養護Ⅰ 社会的養護Ⅱ 子育て支援 障害学Ⅲ 保育実習Ⅲ
その他	講師	ヤマナリ アキヨ 山成 昭世 <令和7年4月> 修士(教育学)	講師	ヤマナリ アキヨ 山成 昭世 <令和7年4月> 修士(教育学)
		幼児と表現Ⅱ※ 保育内容・表現※ 教材研究Ⅱ※		幼児と表現Ⅱ※ 保育内容・表現※ 教材研究Ⅱ※
その他	講師	クメ ユキコ 久米 裕紀子 <令和9年4月> 修士(教育学)	講師	クメ ユキコ 久米 裕紀子 <令和9年4月> 修士(教育学)
		幼児教育の方法及び技術※		幼児教育の方法及び技術※
その他	講師	アベ マユミ 阿部 まゆみ <令和7年4月> 修士(学術)	講師	アベ マユミ 阿部 まゆみ <令和7年4月> 修士(学術)
		基礎Ⅰ 基礎Ⅱ		基礎Ⅰ 基礎Ⅱ 教養演習Ⅰ
その他	講師	オオカワ レイコ 大川 礼子 <令和7年4月> 学士(教養)	講師	オオカワ レイコ 大川 礼子 <令和7年4月> 学士(教養)
				基礎Ⅱ
その他	講師	タワ マキ 田 真希 <令和8年4月> 修士(法学)	講師	タワ マキ 田 真希 <令和8年4月> 修士(法学)
		基礎Ⅲ		基礎Ⅲ
その他	講師	ミズカワ フミコ 水川 布美子 <令和7年4月> 博士(日本文学)	講師	ミズカワ フミコ 水川 布美子 <令和7年4月> 博士(日本文学)
		基礎Ⅳ 言葉と文学Ⅰ		基礎Ⅳ 言葉と文学Ⅰ
その他	講師	オオブチ ユミ 大瀬 裕美 <令和7年4月> 博士(社会科学)	講師	オオブチ ユミ 大瀬 裕美 <令和7年4月> 博士(社会科学)
		女性Ⅰ 女性Ⅳ 衣・食・住Ⅱ※		女性Ⅰ 女性Ⅳ 衣・食・住Ⅱ※
その他	講師	オガワ ヨウコ 小河 洋子 <令和7年4月> 修士(学術)	講師	オガワ ヨウコ 小河 洋子 <令和7年4月> 修士(学術)
		女性Ⅱ		女性Ⅱ
その他	講師	ヨシカワ ユタカ 吉川 豊 <令和7年4月> 博士(理学)	講師	ヨシカワ ユタカ 吉川 豊 <令和7年4月> 博士(理学)
		女性Ⅲ※		女性Ⅲ※
その他	講師	ハットリ リツコ 服部 律子 <令和7年4月> 学術博士	講師	ハットリ リツコ 服部 律子 <令和7年4月> 学術博士
		女性Ⅲ※		女性Ⅲ※

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名
その他	講師	コウ アイコ 洪 愛子 <令和7年4月> 博士(医学)		
		女性Ⅲ※		
その他	講師	イズミ タエコ 泉 妙子 <令和7年4月> 博士(社会福祉学)		
		女性Ⅲ※		
			その他	講師 キムラ アイ 木村 あい <令和7年4月> 修士(臨床福祉学)
				女性Ⅲ※
その他	講師	オクノ タダシ 奥野 直 <令和7年4月> 博士(医学)	その他	講師 オクノ タダシ 奥野 直 <令和7年4月> 博士(医学)
		女性Ⅲ※		女性Ⅲ※
その他	講師	コジマ リエ 小島 理永 <令和7年4月> 博士(学術)	その他	講師 コジマ リエ 小島 理永 <令和7年4月> 博士(学術)
		女性Ⅲ※ スポーツ実技V(学外)		女性Ⅲ※ スポーツ実技V(学外) ※
その他	講師	マツモト キヌヨ 松本 衣代 <令和7年4月> 博士(食物栄養学)	その他	講師 マツモト キヌヨ 松本 衣代 <令和7年4月> 博士(食物栄養学)
		女性Ⅲ※ 衣・食・住Ⅰ		女性Ⅲ※ 衣・食・住Ⅰ
その他	講師	サイトウ アツコ 斎藤 あつ子 <令和7年4月> 医学博士	その他	講師 サイトウ アツコ 斎藤 あつ子 <令和7年4月> 医学博士
		女性Ⅲ※		女性Ⅲ※
その他	講師	ショウジ ヒロコ 小路 浩子 <令和7年4月> 博士(看護学)	その他	講師 ショウジ ヒロコ 小路 浩子 <令和7年4月> 博士(看護学)
		女性Ⅲ※		女性Ⅲ※
その他	講師	タマキ アツコ 玉木 敦子 <令和7年4月> 博士(看護学)	その他	講師 タマキ アツコ 玉木 敦子 <令和7年4月> 博士(看護学)
		女性Ⅲ※		女性Ⅲ※
その他	講師	カジキ ノリコ 梶木 典子 <令和7年4月> 博士(学術)	その他	講師 カジキ ノリコ 梶木 典子 <令和7年4月> 博士(学術)
		神戸学※ 衣・食・住Ⅱ※		神戸学※ 衣・食・住Ⅱ※
その他	講師	タナカ エイジ 田中 栄治 <令和7年4月> 工学修士	その他	講師 タナカ エイジ 田中 栄治 <令和7年4月> 工学修士
		神戸学※ 衣・食・住Ⅱ※		神戸学※ 衣・食・住Ⅱ※

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名
その他	講師	オオモリ マサコ 大森 正子 <令和7年4月> 博士(医学)	その他	オオモリ マサコ 大森 正子 <令和7年4月> 博士(医学)
		地域学習		地域学習※ 衣・食・住Ⅱ※
その他	講師	ニシデ ヨシオ 西出 良郎 <令和7年4月> 修士(文学)	その他	ニシデ ヨシオ 西出 良郎 <令和7年4月> 修士(文学)
		英語Ⅰ-1 教養英語Ⅰ-1 教養英語Ⅰ-2		音楽と文学Ⅲ
その他	講師	ノダ ユリコ 野田 ゆり子 <令和7年4月> 博士(英文学)		
		英語Ⅰ-2 音楽と文学Ⅲ		
			その他	おぐら ダニエル Gilpin Daniel <令和7年4月> bachelor's degree in Political Science (カナダ)
				英語Ⅰ-1 英語Ⅰ-2
その他	講師	メソピヤン メリネ Mesropyan Meline <令和8年4月> 博士(国際文化学)	その他	メソピヤン メリネ Mesropyan Meline <令和8年4月> 博士(国際文化学)
		英語Ⅱ-1 英語Ⅱ-2 外国語コミュニケーションⅠ 外国語コミュニケーションⅡ		英語Ⅱ-1 英語Ⅱ-2 外国語コミュニケーションⅠ 外国語コミュニケーションⅡ
			その他	クワハラ ケイコ 桑原 景子 <令和7年4月> 博士(教育社会学)
				教養英語Ⅰ-1 教養英語Ⅰ-2
その他	講師	コナーズ ランドール CONNERS, Randall <令和8年4月> 修士(音楽学)	その他	コナーズ ランドール CONNERS, Randall <令和7年4月> 修士(音楽学)
		教養英語Ⅱ-1 教養英語Ⅱ-2		英語Ⅰ-1 英語Ⅰ-2 教養英語Ⅱ-1 教養英語Ⅱ-2
その他	講師	イケダ リツィウス ヤスミン 池田リツィウス ヤスミン <令和7年4月> 修士(文学)	その他	イケダ リツィウス ヤスミン 池田リツィウス ヤスミン <令和7年4月> 修士(文学)
		ドイツ語Ⅰ-1 ドイツ語Ⅰ-2 ドイツ語Ⅰ(速習)※ ドイツ語Ⅱ(速習)※ 音楽と文学Ⅳ※		ドイツ語Ⅰ(速習)※ ドイツ語Ⅱ(速習)※ 音楽と文学Ⅳ※
その他	講師	オクダ セイジ 奥田 誠司 <令和7年4月> 博士(文学)	その他	オクダ セイジ 奥田 誠司 <令和7年4月> 博士(文学)
		ドイツ語Ⅰ(速習)※ ドイツ語Ⅱ(速習)※		ドイツ語Ⅰ-1 ドイツ語Ⅰ-2 ドイツ語Ⅰ(速習)※ ドイツ語Ⅱ(速習)※
			その他	モウリ マミ 毛利 真実 <令和7年4月> 博士(学術)
				ドイツ語Ⅰ-1 ドイツ語Ⅰ-2
その他	講師	デグチ ユウキ 出口 優木 <令和7年4月> 博士(人間・環境学)	その他	デグチ ユウキ 出口 優木 <令和7年4月> 博士(人間・環境学)
		フランス語Ⅰ-1 フランス語Ⅰ-2 音楽と文学Ⅳ※		フランス語Ⅰ-1 フランス語Ⅰ-2 音楽と文学Ⅳ※

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名
その他	講師	マツダ マリ 松田 真里 <令和7年4月> 博士(文学)	その他	マツダ マリ 松田 真里 <令和7年4月> 博士(文学)
		フランス語Ⅰ(速習) フランス語Ⅱ(速習) 言葉と文学Ⅳ※		フランス語Ⅰ-1 フランス語Ⅰ-2 フランス語Ⅰ(速習) フランス語Ⅱ(速習) 言葉と文学Ⅳ※
その他	講師	トウジョウ チエ 東條 智恵 <令和7年4月> 修士(文学)	その他	トウジョウ チエ 東條 智恵 <令和7年4月> 修士(文学)
		中国語Ⅰ-1 中国語Ⅰ-2 中国語Ⅰ(速習)※ 中国語Ⅱ(速習)※		中国語Ⅰ-1 中国語Ⅰ-2 中国語Ⅰ(速習)※ 中国語Ⅱ(速習)※
その他	講師	ロ ホウ 呂 芳 <令和7年4月> 博士(社会文化)		
		中国語Ⅰ(速習)※ 中国語Ⅱ(速習)※		
その他	講師	ソン キ 孫 輝 <令和7年4月> 修士(総合政策)	その他	ソン キ 孫 輝 <令和7年4月> 修士(総合政策)
		中国語会話Ⅰ 中国語会話Ⅱ		中国語Ⅰ(速習)※ 中国語Ⅱ(速習)※
その他	講師	ヒラサカ ヒトシ 平坂 仁志 <令和7年4月> 修士(文学)	その他	ヒラサカ ヒトシ 平坂 仁志 <令和7年4月> 修士(文学)
		中国語講読Ⅰ 中国語講読Ⅱ 言葉と文学Ⅳ※		中国語Ⅰ-1 中国語Ⅰ-2 言葉と文学Ⅳ※
その他	講師		その他	スジヤマ シロウ 杉山 志郎 <令和7年4月> 博士(文学)
				中国語Ⅰ-1 中国語Ⅰ-2 中国語Ⅰ(速習)※ 中国語Ⅱ(速習)※ 中国語会話Ⅰ 中国語会話Ⅱ 中国語講読Ⅰ 中国語講読Ⅱ
その他	講師		その他	チン セイ 陳 静 <令和7年4月> 中国語文学修士 (中国)
				中国語Ⅰ(速習)※ 中国語Ⅱ(速習)※
その他	講師	イ チュンジャ 李 春子 <令和7年4月> 博士(人間・環境学)	その他	イ チュンジャ 李 春子 <令和7年4月> 博士(人間・環境学)
		朝鮮語Ⅰ-1 朝鮮語Ⅰ-2 朝鮮語会話Ⅰ 朝鮮語会話Ⅱ 朝鮮語講読Ⅰ 朝鮮語講読Ⅱ		朝鮮語Ⅰ-1 朝鮮語Ⅰ-2 朝鮮語講読Ⅰ 朝鮮語講読Ⅱ
その他	講師	チェ サムチャン 崔 杉昌 <令和7年4月> 博士(文学)	その他	チェ サムチャン 崔 杉昌 <令和7年4月> 博士(文学)
		朝鮮語Ⅰ(速習)※ 朝鮮語Ⅱ(速習)※		朝鮮語Ⅰ-1 朝鮮語Ⅰ-2 朝鮮語Ⅰ(速習)※ 朝鮮語Ⅱ(速習)※
その他	講師	ゴン ジニ 權 珍籍 <令和7年4月> 修士(教育学)	その他	ゴン ジニ 權 珍籍 <令和7年4月> 修士(教育学)
		朝鮮語Ⅰ(速習)※ 朝鮮語Ⅱ(速習)※		朝鮮語Ⅰ-1 朝鮮語Ⅰ-2 朝鮮語Ⅰ(速習)※ 朝鮮語Ⅱ(速習)※ 朝鮮語会話Ⅰ 朝鮮語会話Ⅱ

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名
			その他 講師	<p>チョン トンホン 鄭 東重</p> <p><令和7年4月> 博士(経済学)</p> <p>新課程 I-1 新課程 I-2</p>
その他	講師	<p>ドウウラ リツコ 堂浦 律子</p> <p><令和7年4月> 修士(文学)</p> <p>イタリア語 I-1 イタリア語 I-2 イタリア語 I (速習) ※ イタリア語 II (速習) ※</p>	その他 講師	<p>ドウウラ リツコ 堂浦 律子</p> <p><令和7年4月> 修士(文学)</p> <p>イタリア語 I-1 イタリア語 I-2</p>
その他	講師	<p>チヨウキ クリスタフ CIOGGNA Cristian</p> <p><令和7年4月> Laurea Magistrale in Lingue e Letterature dell'Asia Orientale (giapponese) (イタリア)</p> <p>イタリア語 I (速習) ※ イタリア語 II (速習) ※ 言葉と文学 IV ※</p>	その他 講師	<p>チヨウキ クリスタフ CIOGGNA Cristian</p> <p><令和7年4月> Laurea Magistrale in Lingue e Letterature dell'Asia Orientale (giapponese) (イタリア)</p> <p>イタリア語 I (速習) ※ イタリア語 II (速習) ※ 言葉と文学 IV ※</p>
その他	講師	<p>ニシヤマ キヨコ 西山 清子</p> <p><令和7年4月> 修士(教育学)</p> <p>基礎トレーニング スポーツと健康の科学 スポーツ実技 I (バドミントン)</p>	その他 講師	<p>ニシヤマ キヨコ 西山 清子</p> <p><令和7年4月> 修士(教育学)</p> <p>スポーツと健康の科学 スポーツ実技 I (バドミントン)</p>
その他	講師	<p>オオサキ ケンタ 大崎 健太</p> <p><令和7年4月> 修士(学校教育学)</p> <p>スポーツ実技 II (バレーボール) スポーツ実技 IV (テニス)</p>	その他 講師	<p>オオサキ ケンタ 大崎 健太</p> <p><令和7年4月> 修士(学校教育学)</p> <p>基礎トレーニング スポーツ実技 II (バレーボール) スポーツ実技 IV (テニス)</p>
その他	講師	<p>オオマツ ケイコ 大松 敬子</p> <p><令和7年4月> 修士(健康科学)</p> <p>スポーツ実技 III (卓球)</p>	その他 講師	<p>オオマツ ケイコ 大松 敬子</p> <p><令和7年4月> 修士(健康科学)</p> <p>スポーツ実技 III (卓球)</p>
			その他 講師	<p>オオヌマ ハヤト 大沼 勇人</p> <p><令和7年4月> 博士(体育学)</p> <p>スポーツ実技 V (学外) ※</p>
その他	講師	<p>クリヤマ ハルナ 栗山 はるな</p> <p><令和7年4月> 修士(人間・環境学)</p> <p>哲学 思想 宗教 心とからだの健康※</p>		
			その他 講師	<p>オダ リンタロウ 小田 麟太郎</p> <p><令和7年4月> 博士(人間・環境学)</p> <p>宗教</p>
その他	講師	<p>カノウ ユリコ 狩野 百合子</p> <p><令和7年4月> 学術博士</p> <p>心とからだの健康※</p>	その他 講師	<p>カノウ ユリコ 狩野 百合子</p> <p><令和7年4月> 学術博士</p> <p>心とからだの健康※</p>
その他	講師	<p>タガワ ユミコ 田川 由美子</p> <p><令和7年4月> 博士(工学)</p> <p>心とからだの健康※</p>		

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名
その他	講師	ヨシオカ シツヨ 吉岡 志津世 <令和7年4月> 文学修士	その他	ヨシオカ シツヨ 吉岡 志津世 <令和7年4月> 文学修士
		言葉と文学Ⅱ		言葉と文学Ⅱ
その他	講師	カワモリ ヒロシ 川森 博司 <令和7年4月> 博士(文学)	その他	カワモリ ヒロシ 川森 博司 <令和7年4月> 博士(文学)
		言葉と文学Ⅳ※ 現代社会Ⅴ		言葉と文学Ⅳ※ 現代社会Ⅴ
その他	講師	ツァン チェンフェイ 莊 千慧 <令和7年4月> 博士(文学)	その他	ツァン チェンフェイ 莊 千慧 <令和7年4月> 博士(文学)
		言葉と文学Ⅳ※		言葉と文学Ⅳ※
その他	講師	イクラ エリイ 飯倉 江里衣 <令和7年4月> 博士(学術)		
		言葉と文学Ⅳ※		
その他	講師	スズキ コウセツ 鈴木 宏節 <令和7年4月> 博士(文学)	その他	スズキ コウセツ 鈴木 宏節 <令和7年4月> 博士(文学)
		言葉と文学Ⅳ※		言葉と文学Ⅳ※
			その他	チャン ティフエ tran thihue <令和7年4月> 博士(学術)
				言葉と文学Ⅳ※
			その他	タカシロ ケント 高城 建人 <令和7年4月> 博士(人間・環境学)
				言葉と文学Ⅳ※
その他	講師	カスターニャ マテオ CASTAGNA Matteo 修士(経済学)	その他	カスターニャ マテオ CASTAGNA Matteo <令和7年4月> 修士(経済学)
		言葉と文学Ⅳ※		イタリア語Ⅰ-1 イタリア語Ⅰ-2 イタリア語Ⅰ(読書)※ イタリア語Ⅱ(読書)※
その他	講師	ヨシトミ アヤ 吉富 文 <令和7年4月> 修士(言語・文化学)	その他	ヨシトミ アヤ 吉富 文 <令和7年4月> 修士(言語・文化学)
		言葉と文学Ⅳ※		イタリア語Ⅰ-1 イタリア語Ⅰ-2 言葉と文学Ⅳ※
その他	講師	ヒロオカ エリコ 廣岡 江梨子 <令和7年4月> 博士(文学)	その他	ヒロオカ エリコ 廣岡 江梨子 <令和7年4月> 博士(文学)
		言葉と文学Ⅳ※		言葉と文学Ⅳ※
その他	講師	セキ シュウイチ 関 周一 <令和7年4月> 博士(文学)		
		歴史Ⅰ		

教員 区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名
			その他 講師	ヤマウチ シンジ 山内 晋次 <令和7年4月> 博士(文学) 歴史Ⅰ
その他	講師	ウシネ ヤスヒロ 牛根 靖裕 <令和7年4月> 博士(文学) 歴史Ⅱ【隔年】	その他 講師	ウシネ ヤスヒロ 牛根 靖裕 <令和7年4月> 博士(文学) 歴史Ⅱ【隔年】
その他	講師	ヨシムラ マミ 吉村 真美 <令和7年4月> 文学修士 歴史Ⅲ【隔年】	その他 講師	ヨシムラ マミ 吉村 真美 <令和7年4月> 文学修士 歴史Ⅲ【隔年】
その他	講師	イソムラ アキラ 磯村 晃 <令和7年4月> 博士(法学) 日本国憲法	その他 講師	イソムラ アキラ 磯村 晃 <令和7年4月> 博士(法学) 日本国憲法
その他	講師	トヨフク ハジメ 豊福 一 <令和7年4月> 学士(法学) 現代社会Ⅰ 現代社会Ⅳ	その他 講師	トヨフク ハジメ 豊福 一 <令和7年4月> 学士(法学) 現代社会Ⅰ 現代社会Ⅳ
その他	講師	オザワ ヤスヒデ 小沢 康英 <令和7年4月> 博士(経済学) 現代社会Ⅱ	その他 講師	オザワ ヤスヒデ 小沢 康英 <令和7年4月> 博士(経済学) 現代社会Ⅱ※
			その他 講師	カトウ マサフミ 加藤 正文 <令和7年4月> 学士(経済学) 現代社会Ⅱ※
その他	講師	ササキ ヒロシ 佐々木 宏 <令和7年4月> 博士(英文学) 現代社会Ⅲ		
				ホカゾノ シュウジ 外園 周二 <令和7年4月> 法学士 現代社会Ⅲ
その他	講師	カイマス マサトシ 貝増 匡俊 <令和7年4月> Master of Science in Development Studies (英国) Master of Project Management (マレーシア) 衣・食・住Ⅱ※	その他 講師	カイマス マサトシ 貝増 匡俊 <令和7年4月> Master of Science in Development Studies (英国) Master of Project Management (マレーシア) 衣・食・住Ⅱ※ 職業総合Ⅰ
その他	講師	ナカニシ マサエ 中西 正恵 <令和7年4月> 博士(学術) 衣・食・住Ⅱ※	その他 講師	ナカニシ マサエ 中西 正恵 <令和7年4月> 博士(学術) 衣・食・住Ⅱ※

教員 区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名
その他	講師	ヤマノ テヒロ 山根 千弘 <令和7年4月> 工学博士		
		衣・食・住Ⅱ※		
その他	講師	ジュウイチ レイコ 十一 玲子 <令和7年4月> 家政学士	その他	講師
		衣・食・住Ⅱ※		ジュウイチ レイコ 十一 玲子 <令和7年4月> 家政学士
				衣・食・住Ⅱ※
その他	講師	スナモト フミヒコ 砂本 文彦 <令和7年4月> 博士(工学)		
		衣・食・住Ⅱ※		
その他	講師	サトウ サオリ 佐藤 佐織 <令和7年4月> 修士(教育学)	その他	講師
		衣・食・住Ⅱ※		サトウ サオリ 佐藤 佐織 <令和7年4月> 修士(教育学)
				衣・食・住Ⅱ※
			その他	講師
				ガンガ ノブコ ガンガ 伸子 <令和7年4月> 博士(農学)
				衣・食・住Ⅱ※
その他	講師	マツモト ナオ 松本 尚 <令和7年4月> 修士(美術)	その他	講師
		芸術Ⅰ		マツモト ナオ 松本 尚 <令和7年4月> 修士(美術)
				芸術Ⅰ
その他	講師	ハットリ トモユキ 服部 智行 <令和7年4月> 博士(芸術学)	その他	講師
		芸術Ⅱ		ハットリ トモユキ 服部 智行 <令和7年4月> 博士(芸術学)
				芸術Ⅱ
その他	講師	オオヤマ ノリコ 大山 範子 <令和7年4月> 博士(学術)	その他	講師
		芸術Ⅲ		オオヤマ ノリコ 大山 範子 <令和7年4月> 博士(学術)
				芸術Ⅲ 教養総合Ⅱ※
その他	講師	ハシモト レイコ 橋本 礼子 <令和7年4月> 博士(文学)	その他	講師
		教養総合Ⅰ		ハシモト レイコ 橋本 礼子 <令和7年4月> 博士(文学)
				教養総合Ⅰ
その他	講師	ノグチ カズミ 野口 和美 <令和7年4月> 博士(学術)	その他	講師
		教養総合Ⅱ 教養演習Ⅰ 教養演習Ⅱ		ノグチ カズミ 野口 和美 <令和7年4月> 博士(学術)
				教養総合Ⅱ 教養演習Ⅰ 教養演習Ⅱ
			その他	講師
				キノシタ フミタカ 榎下 文康 <令和7年4月> 修士(文学)
				教養総合Ⅱ※

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名
			その他 講師	ナガタ アカネ 長田 あかね <令和7年4月> 修士(文学)
				教養総合Ⅱ※
			その他 講師	オカガキ ヒロタカ 岡崎 裕剛 <令和7年4月> 博士(文学)
				教養総合Ⅱ
その他	講師	バンナカ ケンヤ 伴仲 謙欣 <令和7年4月> 修士(教育学)	その他 講師	バンナカ ケンヤ 伴仲 謙欣 <令和7年4月> 修士(教育学)
		教育社会学		教育社会学
その他	講師	ミヤモト カズキ 宮本 和行 <令和9年4月> 修士(教育学)	その他 講師	ミヤモト カズキ 宮本 和行 <令和9年4月> 修士(教育学)
		保育内容の理解と方法Ⅰ		保育内容の理解と方法Ⅰ
その他	講師	コバヤシ ミドリ 小林 みどり <令和10年4月> 修士(学校教育学)	その他 講師	コバヤシ ミドリ 小林 みどり <令和10年4月> 修士(学校教育学)
		保育内容の理解と方法Ⅱ		保育内容の理解と方法Ⅱ
その他	講師	コバヤシ ヨウジ 小林 洋司 <令和7年4月> 博士(学術)	その他 講師	コバヤシ ヨウジ 小林 洋司 <令和7年4月> 博士(学術)
		子ども家庭福祉 保育実習Ⅰ 保育実習指導Ⅰ(施設)		子ども家庭福祉 保育実習Ⅰ 保育実習指導Ⅰ(施設)
その他	講師	カワノ ジュンコ 河野 淳子 <令和8年4月> 修士(心理学)	その他 講師	カワノ ジュンコ 河野 淳子 <令和8年4月> 修士(心理学)
		子ども家庭支援の心理学		子ども家庭支援の心理学
その他	講師	インダ ヒサコ 石田 寿子 <令和9年4月> 修士(看護学)	その他 講師	インダ ヒサコ 石田 寿子 <令和9年4月> 修士(看護学)
		子どもの健康と安全		子どもの健康と安全
その他	講師	ミゾフチ ジュン 満洲 淳 <令和10年4月> 修士(社会福祉学)	その他 講師	ミゾフチ ジュン 満洲 淳 <令和10年4月> 修士(社会福祉学)
		子ども家庭支援論		子ども家庭支援論
その他	講師	ハラマキ マスミ 服巻 真須美 <令和9年4月> 修士(学校教育学)	その他 講師	ハラマキ マスミ 服巻 真須美 <令和9年4月> 修士(学校教育学)
		保育内容総論		保育内容総論
その他	講師	クガ ユウコ 久我 裕子 <令和7年4月> 学士(音楽) Bachelor of Music (米国)	その他 講師	クガ ユウコ 久我 裕子 <令和7年4月> 学士(音楽) Bachelor of Music (米国)
		器楽Ⅰ 器楽Ⅱ 器楽Ⅲ 器楽Ⅳ		器楽Ⅰ 器楽Ⅱ 器楽Ⅲ 器楽Ⅳ

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名
その他	講師	ミヤウチ ハルミ 宮内 晴美 <令和7年4月> 学術学士	その他	ミヤウチ ハルミ 宮内 晴美 <令和7年4月> 学術学士
		器楽Ⅰ 器楽Ⅱ 器楽Ⅲ		器楽Ⅰ 器楽Ⅱ 器楽Ⅲ
その他	講師	ヤマシタ ユウコ 山下 佑子 <令和7年4月> 学士(音楽)	その他	ヤマシタ ユウコ 山下 佑子 <令和7年4月> 学士(音楽)
		器楽Ⅰ 器楽Ⅱ 器楽Ⅲ		器楽Ⅰ 器楽Ⅱ 器楽Ⅲ
その他	講師	ヤマグチ マサトシ 山口 雅敏 <令和7年4月> 学士(音楽)	その他	ヤマグチ マサトシ 山口 雅敏 <令和7年4月> 学士(音楽)
		器楽Ⅰ 器楽Ⅱ 器楽Ⅳ		器楽Ⅰ 器楽Ⅱ 器楽Ⅳ
その他	講師	コバヤシ ユカ 小林 由佳 <令和7年4月> 学士(音楽)	その他	コバヤシ ユカ 小林 由佳 <令和8年4月> 学士(音楽)
		器楽Ⅰ 器楽Ⅱ 器楽Ⅲ 器楽Ⅳ		器楽Ⅲ 器楽Ⅳ
その他	講師	ツジ マリコ 辻 真理子 <令和7年4月> 学士(教育)	その他	ツジ マリコ 辻 真理子 <令和7年4月> 学士(教育)
		器楽Ⅰ 器楽Ⅱ 器楽Ⅲ 器楽Ⅳ		器楽Ⅰ 器楽Ⅱ 器楽Ⅲ 器楽Ⅳ
その他	講師	タナカ コトミ 田中 琴弓 <令和7年4月> Diplom-Musiklehrer (Musik) (ドイツ)	その他	タナカ コトミ 田中 琴弓 <令和7年4月> Diplom-Musiklehrer (Musik) (ドイツ)
		器楽Ⅰ 器楽Ⅱ 器楽Ⅲ		器楽Ⅰ 器楽Ⅱ 器楽Ⅲ
その他	講師	ヒガシ ケイコ 東 恵子 <令和7年4月> 学士(音楽)	その他	ヒガシ ケイコ 東 恵子 <令和7年4月> 学士(音楽)
		器楽Ⅰ 器楽Ⅱ 器楽Ⅲ		器楽Ⅰ 器楽Ⅱ 器楽Ⅲ
その他	講師	フクダ カオリ 福田 可織 <令和7年4月> KONZERTEXAMEN (ドイツ)	その他	フクダ カオリ 福田 可織 <令和7年4月> KONZERTEXAMEN (ドイツ)
		器楽Ⅰ 器楽Ⅱ 器楽Ⅲ 器楽Ⅳ		器楽Ⅰ 器楽Ⅱ 器楽Ⅲ 器楽Ⅳ
その他	講師	スズエ ヨシコ 鈴江 美子 <令和7年4月> 学士(音楽)	その他	スズエ ヨシコ 鈴江 美子 <令和7年4月> 学士(音楽)
		器楽Ⅰ 器楽Ⅱ		器楽Ⅰ 器楽Ⅱ
その他	講師	ウエハラ テルコ 上原 輝子 <令和7年4月> 短期大学卒	その他	ウエハラ テルコ 上原 輝子 <令和7年4月> 短期大学卒
		器楽Ⅱ 器楽Ⅲ 器楽Ⅳ		器楽Ⅱ 器楽Ⅲ 器楽Ⅳ
その他	講師	ユキハラ ノリコ 雪原 典子 <令和7年4月> 芸術学士	その他	ユキハラ ノリコ 雪原 典子 <令和7年4月> 芸術学士
		器楽Ⅱ		器楽Ⅰ 器楽Ⅱ
その他	講師	フクダ エマ 福田 絵麻 <令和7年4月> 学士(音楽)	その他	フクダ エマ 福田 絵麻 <令和7年4月> 学士(音楽)
		器楽Ⅱ		器楽Ⅰ 器楽Ⅱ

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名
その他	講師	サカモト アツコ 坂元 敦子 <令和9年4月> 修士(文学)	講師	サカモト アツコ 坂元 敦子 <令和9年4月> 修士(文学)
		英語圏文学Ⅰ		英語圏文学Ⅰ
その他	講師	モリ ナオヤ 森 尚也 <令和9年4月> 文学修士	講師	モリ ナオヤ 森 尚也 <令和9年4月> 文学修士
		英語圏文学Ⅱ		英語圏文学Ⅱ
その他	講師	サカモト コウヘイ 坂本 昇平 <令和8年4月> 修士(文学)	講師	サカモト コウヘイ 坂本 昇平 <令和8年4月> 修士(文学)
		英語圏文学入門		英語圏文学入門
その他	講師	アンドウ ユウ 安藤 優 <令和9年4月> 修士(英文学)	講師	アンドウ ユウ 安藤 優 <令和9年4月> 修士(英文学)
		Basic Writing I		Basic Writing I
その他	講師	イエイリ セイコ 家入 聖子 <令和7年4月> 文学士	講師	イエイリ セイコ 家入 聖子 <令和9年8月> 文学士
		Reading I 読文化理解教育		Reading I
その他	講師	マエダ アオイ 前田 葵 <令和7年4月> 修士(人間・環境学)	講師	マエダ アオイ 前田 葵 <令和7年4月> 修士(人間・環境学)
		兼習トレーニングⅠ		兼習トレーニングⅠ
その他	講師	アオキ リュウイチ 青木 隆一 <令和10年4月> 文学士	講師	アオキ リュウイチ 青木 隆一 <令和10年4月> 文学士
		視覚障害者教育総論		視覚障害者教育総論
その他	講師	ニシヤマ タケシ 西山 健 <令和10年4月> 教育学修士	講師	ニシヤマ タケシ 西山 健 <令和10年4月> 教育学修士
		聴覚障害者教育総論		聴覚障害者教育総論

(注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)(その2の2)(その2の3)に準じて作成してください。
- ・なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
- ・「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(専任教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼任教員を含む。))を黒字で記入してください。
- ・その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
- ・年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
- ・記載は、設置認可時又は届出時における「大学の設置等に係る届出書類作成の手引」の「教員名簿」に記載されている「教員区分」(改正後大学設置基準等の適用以前は「専任等区分」)の順に記入してください。
- ・改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以降については、主要授業科目にあたる「担当授業科目名」に下線を引いてください。(大学院、高等専門学校は除く)
- ・教員がサバティカル等で不在の期間がある場合、その期間(年月日)を上段「学位」の下へ記入してください。
- ・不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。
- ・指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目名を記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和7年度】

- ・上野昌稔教授の「知的障害教育Ⅰ」「知的障害教育Ⅱ」について、教職課程認定申請時の文部科学省担当課からの指摘に伴い、田中裕一教授を追加しオムニバス形式の授業に変更。
- ・上野昌稔教授の「病弱教育Ⅰ」について、教職課程認定申請時の文部科学省担当課からの指摘に伴い、丹羽登講師を追加しオムニバス形式の授業に変更。
- ・上野昌稔教授の「重複障害者教育論」について、教職課程認定申請時の文部科学省担当課からの指摘に伴い科目区分を変更したため、科目名称を「重複障害者教育総論」に変更。
- ・栗山はるな講師の退任により、「哲学」「思想」「心とからだの健康※」を田中美紀子教授に、「宗教」を小田麟太郎講師に変更。
- ・田中裕一教授の「知的障害者の心理・生理・病理」「発達障害児の心理・生理・病理」について、教職課程認定申請時の文部科学省担当課からの指摘に伴い、瀬戸山悠講師と高田哲講師に変更し、オムニバス形式の授業に変更。
- ・より充実した教育内容とするため、家人聖子講師の「異文化理解教育」を、本多明子教授に変更。
- ・黒田昌克准教授の就任辞退により、黒田昌克准教授担当予定科目全てを山崎宣次教授に変更。
- ・穴田恭輔氏の職位を「准教授」から「教授」に変更。
- ・住本純氏の職位を「講師」から「准教授」に変更。
- ・山本裕子講師の「肢体不自由者の心理・生理・病理」について、教職課程認定申請時の文部科学省担当課からの指摘に伴い、高田哲講師を追加し、オムニバス形式の授業に変更。
- ・山本裕子講師の「病弱教育Ⅱ」について、教職課程認定申請時の文部科学省担当課からの指摘に伴い、上野昌稔教授と丹羽登講師に変更し、オムニバス形式の授業に変更。
- ・山本裕子講師の「病弱教育総論」について、教職課程認定申請時の文部科学省担当課からの指摘に伴い、丹羽登講師に変更。
- ・堀江祐爾講師の退任により、堀江祐爾講師担当予定科目全てを吉川芳則講師に変更。
- ・大西雅裕講師と大森正子講師の「地球学習」について、より充実した教育内容とするためにオムニバス形式の授業に変更。
- ・授業内容の充実を図り、「教養演習Ⅰ」の担当者として阿部まゆみ講師を追加。
- ・授業内容の充実を図り、「基礎Ⅱ」の担当者として大川礼子講師を追加。
- ・泉妙子講師の退任により、「女性Ⅲ※」を木村あい講師に変更し、授業時間割編成の調整のため、洪愛子講師の「女性Ⅲ※」を削除。
- ・山根千弘講師の退任により、「衣・食・住Ⅱ※」を大森正子講師に変更。
- ・野田ゆり子講師の退任により、「言葉と文学Ⅲ」を西出良郎講師に、「英語Ⅰ-2」をGilpin Daniel講師に変更。
- ・授業時間割編成の調整のため、西出良郎講師の「英語Ⅰ-1」をGilpin Daniel講師に変更。
- ・授業時間割編成の調整のため、西出良郎講師の「教養英語Ⅰ-1」「教養英語Ⅰ-2」を、桑原景子講師に変更。
- ・授業時間割編成の調整のため、CONNERS, Randall講師に、「英語Ⅰ-1」「英語Ⅰ-2」を追加。
- ・授業時間割編成の調整のため、池田リカヤ ヤミ講師の「ドイツ語Ⅰ-1」「ドイツ語Ⅰ-2」を、奥田誠司講師に変更。
- ・授業時間割編成の調整のため、毛利真実講師に、「ドイツ語Ⅰ-1」「ドイツ語Ⅰ-2」を追加。
- ・授業時間割編成の調整のため、松田真里講師に、「フランス語Ⅰ-1」「フランス語Ⅰ-2」を追加。
- ・呂方講師の退任により、「中国語Ⅰ(速習)※」「中国語Ⅱ(速習)※」を、陳静講師に変更。
- ・授業時間割編成の調整のため、孫輝講師に、「中国語Ⅰ(速習)※」「中国語Ⅱ(速習)※」を追加。
- ・授業時間割編成の調整のため、孫輝講師の「中国語会話Ⅰ」「中国語会話Ⅱ」を、杉山志郎講師に変更。
- ・授業時間割編成の調整のため、平坂仁志講師の「中国語講読Ⅰ」「中国語講読Ⅱ」を、杉山志郎講師に変更。
- ・授業時間割編成の調整のため、平坂仁志講師に、「中国語Ⅰ-1」「中国語Ⅰ-2」を追加。
- ・授業時間割編成の調整のため、杉山志郎講師に、「中国語Ⅰ-1」「中国語Ⅰ-2」「中国語Ⅰ(速習)※」「中国語Ⅱ(速習)※」を追加。
- ・授業時間割編成の調整のため、李春子講師の「朝鮮語会話Ⅰ」「朝鮮語会話Ⅱ」を、権珍嬉講師に変更。
- ・授業時間割編成の調整のため、崔杉昌講師に、「朝鮮語Ⅰ-1」「朝鮮語Ⅰ-2」を追加。
- ・授業時間割編成の調整のため、権珍嬉講師に、「朝鮮語Ⅰ-1」「朝鮮語Ⅰ-2」を追加。
- ・授業時間割編成の調整のため、鄭東憲講師に、「朝鮮語Ⅰ-1」「朝鮮語Ⅰ-2」を追加。
- ・授業時間割編成の調整のため、堂浦律子講師の「イタリア語Ⅰ(速習)※」「イタリア語Ⅱ(速習)※」を、CASTAGNA Matteo講師に追加。
- ・授業時間割編成の調整のため、CASTAGNA Matteo講師に、「イタリア語Ⅰ-1」「イタリア語Ⅰ-2」を追加。
- ・授業時間割編成の調整のため、吉富文講師に、「イタリア語Ⅰ-1」「イタリア語Ⅰ-2」を追加。
- ・授業時間割編成の調整のため、西山清子講師の「基礎トレーニング」を、大崎健太講師に変更。
- ・住本純准教授と小島理永講師の「スポーツ実技Ⅴ(学外)」について、授業時間割編成の調整と教育効果を高めるため、大沼勇人講師を追加し、オムニバス形式の授業に変更。
- ・田川由美子講師の退任により、「心とからだの健康※」を、授業時間割編成の調整を行い削除。
- ・飯倉江里衣講師の退任により、「言葉と文学Ⅳ※」を高城建人講師に変更し、授業時間割編成の調整のため、tran thihue講師を追加し、CASTAGNA Matteo講師を削除。
- ・授業時間割編成の調整のため、関周一講師の「歴史Ⅰ」を山内晋次講師に変更。
- ・小沢康英講師の「現代社会Ⅱ」について、より充実した教育内容とするため加藤正文講師を追加し、オムニバス形式の授業に変更。
- ・佐々木宏講師の退任により、「現代社会Ⅲ」を外園周二講師に変更。
- ・授業内容の充実を図り、「教養総合Ⅰ」の担当者として貝増匡俊講師を追加。
- ・砂本彦彦講師の退任により、「衣・食・住Ⅱ※」をガンガ伸子講師に変更。
- ・授業内容の充実を図り、「教養総合Ⅱ」の担当者として岡崎裕剛講師を追加。
- ・より充実した教育内容とするため、大山範子講師、樹下文隆講師、長田あかね講師のオムニバス形式の授業として「教養総合Ⅱ※」を追加。
- ・時間割編成の調整を行ったため、小林由佳講師の「器楽Ⅰ」「器楽Ⅱ」を削除し、雪原典子講師と福田絵麻講師に「器楽Ⅰ」を追加。

(注) 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

- ・ **認可で設置された学部等の基幹(専任)教員を変更する場合は**、当該基幹(専任)教員が授業を開始する前に必ず「基幹(専任)教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(A C教員審査)を受けてください。

原則としてA C教員審査を受けずに基幹(専任)教員として授業等を担当することは出来ません。

なお、改正前大学設置基準等に基づいて認可を受けて設置された学部等が、改正後大学設置基準等への適用のため、大学が基幹教員の要件を満たすと判断した

「専任教員」を「基幹教員」とする場合は、A C教員審査を受審する必要はない扱いです。(改正後大学設置基準等の適用にあたり、

「基幹教員」の担当授業科目を追加する場合、「基幹教員」の担当授業科目の内容を変更するなど、A C教員審査の受審を求めている事由が発生する場合は、A C教員審査を受審する必要があります)

- ・ A C教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。

なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。

- ・ 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。

(2) 基幹教員数等

(注)・計画の区分が「学部等連携課程実施基本組織(学科連携課程実施学科)の設置」の場合、大学設置基準第四十一条第二項(短期大学設置基準第三条の二)に基づく「連携協力学部等(連携協力学科)」の基幹教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要基幹教員数」及び「(2)-② 基幹教員等数【大学】」を連携協力学部等(連携協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要基幹教員数

完成年度時における設置基準上の必要基幹教員数(α)	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	うち、完成年度時における設置基準上の専ら当該学部等の教育研究に従事する必要基幹教員数(α)の4分の3以上)
10	5	8
名	名	名

(注)・大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一、高等専門学校設置基準第六条第九項により算出される基幹教員数を記入してください。
 ・高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 基幹教員等数【大学・高専】

設置時の計画							現在(報告時)の状況						
教授	准教授	講師	助教	計(A)	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計(A*))	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計(B*))	助手(B')
17	8	2	0	27	27	2	19	7	0	0	26	26	2
(17)	(8)	(1)	(0)	(26)	(26)	(2)							
現在(報告時)の完成年度時の状況							現在(報告時)の完成年度時の計画						
教授	准教授	講師	助教	計(C)	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計(C*))	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計(D*))	助手(D')
19	7	1	0	27	27	2	19	7	1	0	27	27	2
[2]	[Δ1]	[Δ1]	[0]	[0]	[0]	[0]	[2]	[Δ1]	[Δ1]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 高等専門学校の場合、「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計)」欄は、「うち専ら当該高等専門学校の教育に従事する者(「基一」及び「基専」の計)」として記入してください。
 なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、「設置時の計画」欄は「設置時の計画(改正前大学設置基準等)」とした上で、「専任教員」及び「助手」の人数を記入してください。
 また、「計(A)」の「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計(A*))」欄には「-」を記入してください。
 ・現在(報告時)の状況には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・**現在(報告時)の完成年度時の状況**には、認可で設置された学部等の場合は、「**現在(報告時)の状況**」に記入した数字に、**教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数**を、届出で設置された学部等の場合は、「**現在(報告時)の状況**」に記入した数字に、**完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入**するとともに、() 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ 1)
 ・現在(報告時)の完成年度時の計画には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ 1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
70	0	3
歳	名	名

(注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

【基幹教員全体】

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{27}{27} = 100\%$$
 【基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者】

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{27}{27} = 100\%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{26} = 0\%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{2}{2} = 100\%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 基幹（専任）教員辞任等の理由

(3) - ① 基幹（専任）教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
21	准教授	黒田 昌克	R7.4	選択	情報A	①	R7.4 他大学就任のため就任辞退（7）			
				選択	情報B	①				
				必修	グローバルイシューと教育※	①				
				必修	教育基礎演習	①				
				必修	教育学講読	①				
				必修	教育学演習	①				
				必修	卒業論文Ⅰ	①				
				必修	卒業論文Ⅱ	①				
				選択	教職実践演習（幼・小・中）※	①				
				必修	ICT活用の理論と実践	①				
必修	教育の方法及び技術	①								
選択	プログラミング教育	①								
合計（D）				後任補充状況の集計（E）						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）		
1	人	必修	8	科目	必修	8	科目	必修	0	科目
		選択	4	科目	選択	4	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	12	科目	計	12	科目	計	0	科目

- (注) 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての基幹（専任）教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - 昨年度の報告後から今年度の報告時までには基幹（専任）教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
- ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
合計（F）				後任補充状況の集計（G）						
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての基幹（専任）教員について、記入してください。（学年進行中に基幹教員の要件を満たさなくなったことにより、基幹教員でなくなった教員についても記入してください。）
- 昨年度の報告後から今年度の報告時までには基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
- ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）				後任補充状況の集計（E）+（G）						
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）		
1	人	必修	8	科目	必修	8	科目	必修	0	科目
		選択	4	科目	選択	4	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	12	科目	計	12	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D)+(F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{27} = 3.7\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和6年度報告書から、新たに辞任等した基幹（専任）教員等の状況

1 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した基幹（専任）教員数の合計数を記載してください。
- ・令和7年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した基幹（専任）教員に対する後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計			後任補充状況の集計							
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注)・ 定年により退職した全ての基幹（専任）教員について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 基幹（専任）教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・大学の所見
就任辞退に伴い公募を行い、辞退者の全科目を引き継ぐことができる業績を持つ基幹教員を採用しているため問題はないと考える。 ・学生への周知方法
学科オリエンテーションでの指導に併せて、大学のポータルシステムで周知を行っている。 |
|---|

- (注)・ 上記（3）の基幹（専任）教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区分	附帯事項等	履行状況	今後の実施計画
<p>設置計画履行状況 調査結果 (令和6年度)</p>	<p>○ 収容定員充足率が0.45倍と著しく低い。入学前教育の充実を含め、教育内容の更なる充実を図りつつ、提示された学生確保に向けた取組等を確実に実施するとともに、より効果的な改善策を新たに講じる等、令和7年度の入学定員の充足に努めること。(文学部国際教養学科)</p>	<p>直近5年間に於いて入学定員未充足の状況が続いている。志願数の減少は当初コロナ禍が大きく影響していると考えられた。しかしながら、令和5年5月にCOVID-19が5類感染症となり、学生募集がコロナ禍以前と同様に行えるようになったが、入学者は、令和6年度は10名、令和7年度は17名となり、令和7年5月1日時点の収容定員充足率は0.29倍となっている。全国的な学問分野の社会的ニーズの低下や学科の認知度低下による受験者数の大幅な減少が続いている。(7)</p> <p>【AC】 指摘事項 (是正)</p>	<p>18歳人口の減少、全国的に女子大学の入学志願者動向が減少傾向であり、これらの状況を踏まえ、学科の改組について検討を進めるとともに、令和8年4月からの入学定員及び収容定員を見直し、収容定員関係学則変更届出書を提出した(入学定員60人→20人、収容定員240人→80人)。また、大学の認知度の維持拡大のための広報の在り方を継続的に検討し、令和6年度からの新たな取組として、メディア戦略室を設置しSNSを用いた大学の魅力の積極的発信やHP等の広報をより戦略的に行っている。SNSを中心としたWeb広報の強化も行っており、効果測定に基づく効率の良い広報戦略への転換により、志願者数アップを目指している。本学ホームページや各種受験業者媒体への資料請求者に対して、大学案内等、募集資料を送付しており、その過程でオープンキャンパス(年間9回)への参加、出願の促進をしている。(7)</p> <p>履行中</p>
<p>設置計画履行状況 調査結果 (令和6年度)</p>	<p>○ 神戸女子大学の既設学科等(文学部日本語日本文学科)の収容定員未充足の改善に努めること。</p>	<p>直近5年間に於いて入学定員未充足の状況が続いている。志願数の減少は当初コロナ禍が大きく影響していると考えられた。しかしながら、令和5年5月にCOVID-19が5類感染症となり、学生募集がコロナ禍以前と同様に行えるようになったが、入学者は、令和6年度は29名、令和7年度は37名となり、令和7年5月1日時点の収容定員充足率は0.61倍となっている。全国的な学問分野の社会的ニーズの低下や学科の認知度低下による受験者数の大幅な減少が続いている。(7)</p> <p>【AC】 指摘事項 (改善)</p>	<p>18歳人口の減少、全国的に女子大学の入学志願者動向が減少傾向であり、これらの状況を踏まえ、学科の改組について検討を進めるとともに、令和8年4月からの入学定員及び収容定員を見直し、収容定員関係学則変更届出書を提出した(入学定員60人→40人、収容定員240人→160人)また、大学の認知度の維持拡大のための広報の在り方を継続的に検討し、令和6年度からの新たな取組として、メディア戦略室を設置しSNSを用いた大学の魅力の積極的発信やHP等の広報をより戦略的に行っている。SNSを中心としたWeb広報の強化も行っており、効果測定に基づく効率の良い広報戦略への転換により、志願者数アップを目指している。本学ホームページや各種受験業者媒体への資料請求者に対して、大学案内等、募集資料を送付しており、その過程でオープンキャンパス(年間9回)への参加、出願の促進をしている。(7)</p> <p>履行中</p>

区分	附帯事項等	履行状況	今後の実施計画
設置計画履行状況調査結果 (令和6年度)	○ 神戸女子大学の既設学科等（文学部英語英米文学科）の収容定員未充足の改善に努めること。	直近5年間において入学定員未充足の状況が続いている。志願数の減少は当初コロナ禍が大きく影響していると考えられた。しかしながら、令和5年5月にCOVID-19が5類感染症となり、学生募集がコロナ禍以前と同様に行えるようになったが、入学者は、令和6年度は16名、令和7年度は22名となり、令和7年5月1日時点の収容定員充足率は0.35倍となっている。全国的な学問分野の社会的ニーズの低下や学科の認知度低下による受験者数の大幅な減少が続いている。(7)	18歳人口の減少、全国的に女子大学の入学志願者動向が減少傾向であり、これらの状況を踏まえ、学科の改組について検討を進めるとともに、令和8年4月からの入学定員及び収容定員を見直し、収容定員関係学則変更届出書を提出した（入学定員60人→20人、収容定員240人→80人）。また、大学の認知度の維持拡大のための広報の在り方を継続的に検討し、令和6年度からの新たな取組として、メディア戦略室を設置しSNSを用いた大学の魅力の積極的発信やHP等の広報をより戦略的に行っている。SNSを中心としたWeb広報の強化も行っており、効果測定に基づく効率の良い広報戦略への転換により、志願者数アップを目指している。本学ホームページや各種受験業者媒体への資料請求者に対して、大学案内等、募集資料を送付しており、その過程でオープンキャンパス（年間9回）への参加、出願の促進をしている。(7)
	【A C】 指摘事項 (改善)	履行中	
設置計画履行状況調査結果 (令和6年度)	○ 神戸女子大学の既設学科等（文学部史学科）の収容定員未充足の改善に努めること。	直近5年間において入学定員未充足の状況が続いている。志願数の減少は当初コロナ禍が大きく影響していると考えられた。しかしながら、令和5年5月にCOVID-19が5類感染症となり、学生募集がコロナ禍以前と同様に行えるようになったが、入学者は、令和6年度は19名、令和7年度は24名となり、令和7年5月1日時点の収容定員充足率は0.50倍となっている。全国的な学問分野の社会的ニーズの低下や学科の認知度低下による受験者数の大幅な減少が続いている。(7)	18歳人口の減少、全国的に女子大学の入学志願者動向が減少傾向であり、これらの状況を踏まえ、学科の改組について検討を進めるとともに、令和8年4月からの入学定員及び収容定員を見直し、収容定員関係学則変更届出書を提出した（入学定員60人→30人、収容定員240人→120人）。また、大学の認知度の維持拡大のための広報の在り方を継続的に検討し、令和6年度からの新たな取組として、メディア戦略室を設置しSNSを用いた大学の魅力の積極的発信やHP等の広報をより戦略的に行っている。SNSを中心としたWeb広報の強化も行っており、効果測定に基づく効率の良い広報戦略への転換により、志願者数アップを目指している。本学ホームページや各種受験業者媒体への資料請求者に対して、大学案内等、募集資料を送付しており、その過程でオープンキャンパス（年間9回）への参加、出願の促進をしている。(7)
	【A C】 指摘事項 (改善)	履行中	
設置計画履行状況調査結果 (令和6年度)	○ 神戸女子大学の既設学科等（文学部教育学科）の収容定員未充足の改善に努めること。	令和7年4月に教育学部教育学科へ改組を行った。文学部教育学科で置いている幼稚園教諭一種免許状、小学校教諭一種免許状、中学校教諭一種免許状（英語）、保育士資格の課程に加え、新たに特別支援学校教諭一種免許状（知・肢・病）の課程を置き、カリキュラムの更なる充実を図るとともに、18歳人口の減少や全国的な教員採用試験の志願者減少の影響も考慮し、文学部教育学科では入学定員165名、収容定員660名としていたが、教育学部教育学科の入学定員は130名、収容定員520名にした。(7)	教育学部教育学科においても大学の認知度の維持拡大のための広報の在り方を継続的に検討し、令和6年度からの新たな取組として、メディア戦略室を設置しSNSを用いた大学の魅力の積極的発信やHP等の広報をより戦略的に行っている。SNSを中心としたWeb広報の強化も行っており、効果測定に基づく効率の良い広報戦略への転換により、志願者数アップを目指している。本学ホームページや各種受験業者媒体への資料請求者に対して、大学案内等、募集資料を送付しており、その過程でオープンキャンパス（年間9回）への参加、出願の促進をしている。教育学部教育学科開設を継続的にPRすることで広報活動を活性化させ、定員充足を確実なものとする。(7)
	【A C】 指摘事項 (改善)	履行済	

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
設置計画履行状況 調査結果 (令和6年度)	○ 神戸女子大学の既設学科等（健康福祉学部社会福祉学科）の収容定員未充足の改善に努めること。	直近5年間に於いて入学定員未充足の状況が続いている。とくに令和5年度は52人、令和6年度は38人、令和7年度は37人と入学者数が大きく減少しており、収容定員充足率は0.58倍となった。コロナ禍以降、全国的な学問分野の社会的ニーズの低下や競合する他大学で合格が得やすい状況もあり、受験者数の大幅な減少が続いている。(7)	18歳人口の減少、全国的に女子大学の入学志願者動向が減少傾向であり、これらの状況を踏まえ、学科の改組について検討を進めるとともに、令和8年4月からの入学定員及び収容定員を見直し、収容定員関係学則変更届出書を提出した（入学定員80人→50人、収容定員320人→200人）。また、大学の認知度の維持拡大のための広報の在り方を継続的に検討し、令和6年度からの新たな取組として、メディア戦略室を設置しSNSを用いた大学の魅力の積極的発信やHP等の広報をより戦略的に行っている。SNSを中心としたWeb広報の強化も行っており、効果測定に基づく効率の良い広報戦略への転換により、志願者数アップを目指している。本学ホームページや各種受験業者媒体への資料請求者に対して、大学案内等、募集資料を送付しており、その過程でオープンキャンパス（年間9回）への参加、出願の促進をしている。(7)
	【A C】 指摘事項 (改善)		履行中

(注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおり記載してください。

【令和6年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「(6)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(7)」と記載してください。

【令和6年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「(6) (7)」と記載してください。

【令和7年度から新たに調査対象となった学科等又は令和6年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(7)」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<教育学部 教育学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
(令和7年度)	(令和7年度) 該当なし

(注)・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

- ・神戸女子大学・神戸女子短期大学FD委員会（添付資料1）
- ・神戸女子大学・神戸女子短期大学SD委員会（添付資料2）

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・神戸女子大学・神戸女子短期大学FD委員会（2024年度 3回開催）
- ・神戸女子大学・神戸女子短期大学SD委員会（2024年度は開催していない）

c 委員会の審議事項等

- ・神戸女子大学・神戸女子短期大学FD委員会
FD活動の計画及び実施、運営及び支援、情報収集及び提供等に関する事項
- ・神戸女子大学・神戸女子短期大学SD委員会
大学等の運営に係る教職員の能力・資質の向上に関する事項、SD研修に関する事項

② 実施状況

a 実施内容

- ・授業アンケートの実施、分析、フィードバック
- ・研修等の企画、立案、運営

b 実施方法

- ・授業アンケート：PC、スマホから回答するオンライン形式
- ・研修等：①対面でのワークショップ形式での研修、②一定期間内に各自で受講するeラーニング形式での研修を実施

c 開催状況（教員の参加状況含む）

①参加率67.9%、②参加率40.1%

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

各教員は授業別に配信される結果を受けて、学生にフィードバックコメントを送るとともに自身の授業改善に活用している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

・前期及び後期の授業期間又は授業終了後に各々1回実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

・教員には全担当科目の結果を示し、かつ集計結果から共有すべき内容を教授会等で報告、学生には履修科目のアンケート結果及び担当教員からのフィードバックコメントを学内システムにて公開している。

(注)・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

該当なし

b 委員会の開催状況(回数や開催日など)

該当なし

c 委員会の審議事項等

該当なし

d その他

該当なし

② 審議状況

a 審議した内容

該当なし

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

該当なし

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

教育学部は、「豊かな人間性と高い倫理観や道徳性を持ち、教育や保育のあるべき姿を協働的に補完し、子どもの人格形成と自己実現を指導し支援できる社会に貢献する実践力を兼ね備えた教員」を育成し、変革する未来を生きる子どもたちに必要となる資質・能力を育てていくという使命感と確かな実践力などの高い資質・能力をもった教員養成を目標とするとともに特別な支援を必要とする子どものみならず、多様な個性に応じた支援や配慮が必要な子どもたちへの指導力の向上を目指すという目標を掲げ本年度新たに設置した学部である。

教育学部の設置に伴い新たに設けた特別支援学校教諭の教職課程について、入学生への調査では約1/3の学生が履修を希望しており、現時点において、教育・研究等の成果を点検・評価することはできないが、入学生が本学部の目標を理解していることは学修への取り組みの姿勢で確認できる。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・2028年4月公表予定（2026年度に総括的な自己点検・評価を実施予定）

〔前回認証評価（2023年度）の点検・評価内容等はホームページで公開している。〕

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

・2030年度に公益財団法人大学基準協会の評価を受審予定

(注)・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和7年度）

a 公表予定の有無 [(有) ・ 無]

《 aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《 aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

神戸女子大学・神戸女子短期大学 FD 委員会規程

（目的）

第1条 この規程は、神戸女子大学及び神戸女子短期大学（以下「本学」という。）に神戸女子大学・神戸女子短期大学 FD 委員会（以下「委員会」という。）を置き、大学設置基準、大学院設置基準及び短期大学設置基準に基づき、組織的な研修及び研究（FD）を実施し、本学における授業の内容及び方法の改善を図ることを目的とする。

（組織）

第2条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって構成する。

- （1）委員長
- （2）大学の各学科に所属する教員各1名
- （3）大学院の各専攻に所属する教員各1名
- （4）短期大学の各学科に所属する教員各1名
- （5）全学共通教育運営委員会委員1名
- （6）学長室課長

2 前項第6号を除く各号の委員を兼務することは、これを妨げない。

3 第1項第6号を除く委員の任期は1年とし、再任を妨げない。

4 委員長は、学長が指名する。

5 委員長は、委員会を招集し、議長となる。

6 委員長に事故があるときは、学長が代理を指名する。

7 第1項第2号、第3号、第4号及び第5号の委員は委員長からの推薦に基づき、学長が指名する。

8 委員長が必要と認めるときは、委員以外の者を委員会に出席させることができる。

（審議事項）

第3条 委員会は、次の各号に掲げる事項について審議する。

- （1）FD活動の計画及び実施、運営及び支援に関する事項
- （2）FD活動に関する情報収集及び提供に関する事項
- （3）FD活動の自己点検・評価に関する事項
- （4）その他、委員会が必要と認める事項

2 前項各号について審議された事項は、内部質保証委員会に報告する。

（事務）

第4条 本規程に関する事務は、学長室が行う。

（改廃）

第5条 この規程の改廃は、委員会及び内部質保証委員会の意見を聴き学長が行う。

附 則

1 この規程は、令和3年4月1日から施行する。

2 この規程の施行に伴い、神戸女子大学 FD・SD 委員会規程及び神戸女子短期大学 FD・SD 委員会規程は廃止する。

神戸女子大学・神戸女子短期大学 SD 委員会規程

（目的）

第1条 この規程は、神戸女子大学及び神戸女子短期大学（以下「本学」という。）に神戸女子大学・神戸女子短期大学 SD 委員会（以下「委員会」という。）を置き、大学設置基準、大学院設置基準及び短期大学設置基準に基づき、本学における教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るための必要な取組（SD）を行うことを目的とする。

（組織）

第2条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって構成する。

- (1) 学長
- (2) 法人事務局長、大学事務局長
- (3) 法人事務局総務部長
- (4) 学長室課長
- (5) その他学長が必要と認めた教職員

2 前項第5号の委員の任期は1年とし、再任を妨げない。

3 委員長は学長が当たり、委員長に事故があるときは、委員長が代理を指名する。

4 委員長が必要と認めたときは、委員以外の者を委員会に出席させることができる。

（審議事項）

第3条 委員会は、次の各号に掲げる事項について審議する。

- (1) 大学等の運営に係る教職員の能力・資質の向上に関する事項
- (2) SD研修に関する事項
- (3) その他、委員会が必要と認める事項

（事務）

第4条 本規程に関する事務は、学長室が行う。

（改廃）

第5条 この規程の改廃は、委員会の意見を聴き学長が行う。

附 則

この規程は、令和3年4月8日から施行し、令和3年4月1日から適用する。

附 則

この規程は、令和4年7月28日から施行し、令和4年7月1日から適用する。

附 則

この規程は、令和6年4月1日から施行する。